次世代育成支援対策関連事業及びこどもの貧困対策関連事業評価について

資料5

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保				①			
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援				②			
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
1	産前学級の実施		○	初妊婦とそのパートナーを対象にウェルカム！ベイベークラスを実施し、妊娠・出産・育児に関する知識やサービスの周知を行うとともに、子育てをする親同士の交流を促進し、育児不安の軽減を図ります。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
教室参加者数(初産婦)	人(実)	106	149	254	311	269	278	278	97%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
ウェルカム！ベイベークラス 妊娠・出産編：妊娠中の身体の変化、妊娠期の異常、出産について、歯周病と虫歯予防について、妊娠中の栄養について、パートナーの妊婦体験、グループワーク 産後・育児編：沐浴体験、育児手技(だっこ、おむつ替え、着替え)、赤ちゃんの泣き・産後の生活について、市の制度の説明											B	
事業に対する課題認識												
①勤労妊婦が多いことや、パートナーと参加しやすいことを理由に、隔月実施の土曜日開催の希望が増加していますが開催時間について検討します。 ②妊娠・出産編については、定員に満たないことがあるため、参加者のニーズに沿った内容になっているか検討していく必要があります。												
令和7年度の取り組み												
パートナーの参加が増加しています。育児取得や育児参加される方が多くなってきているため、パートナーに向けた教室運営の方法についても今後内容見直ししていく必要があります。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保				②			
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援				③			
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
2	産前・産後サポート事業		○	妊娠前から生後約6か月までの子どもを持つ家庭を対象に、産前・産後サポーターが訪問し、円滑に育児がスタートできるような悩みや相談ごとを傾聴し、家庭や地域での孤立感の解消を図ります。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
対象者人数(延)	人	193	279	254	262	167	200	200	84%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
妊娠期からおおむね生後6か月までの子どもを持つ家庭を対象に、産前・産後サポーターが訪問し、身近に相談者がいない、不安がある妊産婦を産前・産後サポーターが訪問し、妊産婦の気持ちを傾聴しました。また、相談の内容に応じて、地区担当保健師や栄養士と連携し、切れ目のない支援を行いました。月に1度カンファレンスを行い、支援内容の検討を行いました。											B	
事業に対する課題認識												
利用者が前年度より大幅に減少しています。夫の育児休暇の普及やリモート勤務など雇用形態の変化に伴い、夫婦で育児に取り組むことができ、身近に相談相手がいることで、産前・産後サポーターのニーズが減ってきていると考えられます。社会情勢もみながら、必要な家庭が利用できるような周知を徹底していきます。またおおむね6か月までを対象にしていますが、6か月以降も継続して利用している家庭も多いので対象の見直しも検討していく必要があります。												
令和7年度の取り組み												
利用終了者を実施するアンケートにより、対象者のニーズ把握や事業評価を行います。また、カンファレンスを月に1回行い、適宜事業の修正を行います。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保				③			
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援				④			
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
3	各種健診事業		○	疾病等の早期発見・予防を図るため、妊婦・産婦健康診査や妊婦歯科健診、乳幼児健康診査、2歳6か月児歯科健診、フッ化物塗布、新生児聴覚検査費用助成を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
1歳6か月児健康診査受診率 3歳児健康診査受診率	%	94.8 95.5	95.6 94.4	93.6 94.8	97.2 96.3	96.1 93.8	100 100	100 100	96% 94%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
幼児健康診査においては、対象者に対して個別に通知しました。集団健診で計測、内科健診、歯科健診、フッ素塗布、すこやか相談等各種相談を実施しました。											B	
事業に対する課題認識												
90%以上の受診率ですが、未受診者も一定数存在します。そのため、引き続き受診率向上に努めていく必要があります。未受診者においては、訪問やはがき投函、電話等で今後も対応します。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、受診率向上のため対象者が安心して受診できるよう、都度検討していきます。未受診でつながらない場合には、こども家庭支援センターと連携し、受診につなげ未把握の防止に努めます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保				④			
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
4	健康教育の実施		○	1歳児むし歯予防ピーパー教室や歯のすこやか教室などを開催し、講話や実習を通して子どもの生活リズム、食生活、歯の健康など身近な健康に関する知識を学ぶ機会をつくります。保健師・栄養士・歯科衛生士などが地域の子育てサロンや子育て支援施設等で、子どもの健康に関する出前講座や相談に応じます。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
出前講座回数	回	4	14	21	29	34	35	35	97%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
むし歯予防ピーパー教室12回開催、歯のすこやか教室は幼稚園・こども園各園1回、小学校・中学校各校1回実施。保健師・栄養士・歯科衛生士による出前講座を34回実施しました。											B	
事業に対する課題認識												
新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、実施回数が増加しました。感染症拡大予防をしつつ講座で実施できる内容に限られるものもあります。												
令和7年度の取り組み												
感染予防対策を施しながら、健康教育として知識の普及に努め、さらに依頼内容に沿うよう調整し、積極的に取り組んでいきます。												

5章		次世代育成支援対策推進事業			1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保					⑤		
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
5	各種予防接種事業			乳幼児・児童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を実施するとともに、子育て家庭に対して周知と相談支援を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
麻しん風しん定期予防接種接種率	%	1期：98.6 2期：95.6	1期：95.2 2期：95.8	1期：107.5 2期：93.7	1期：111.7 2期：93.6	1期：90.6 2期：93.6	1期：95.0 2期：95.0	1期：95.0 2期：95.0	1期：95% 2期：98%	B	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
麻しん風しん混合1期の対象者は1,016人で、接種者数は920人でした。麻しん風しん混合2期の対象者は1,296人で、接種者数は1,213人でした。											A	
事業に対する課題認識												
「麻しんに関する特定感染症予防指針」、「風しんに関する特定感染症予防指針」の接種率目標（95%以上）の達成を図ります。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、医師会を通じ医療機関委託による個別接種方式で実施します。また、令和6年度中に一部地域においてワクチンの偏在が生じたことから、令和6年度の麻しん風しん定期予防接種対象者は接種期間を令和9年度末まで延長となります。引き続き個別通知（お知らせ・予診票発送）を実施し、未接種者には再度個別通知を実施し、周知を十分に図り接種率向上に努めます。												

5章		次世代育成支援対策推進事業			1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保					⑥		
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
6	こどもの予防接種スケジュール作成支援事業			スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により、予防接種のスケジュール管理ができる機能を提供し、予防接種忘れなどを未然に防ぎ、保護者の負担を軽減します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
登録者数	人	695	634	660	472	296	695	695	43%	D	C	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
生後2か月の予防接種個別通知時に、「こどもの予防接種スケジュール」作成の案内を行っており、令和6年度は932人に通知しました。また、母子保健課窓口のほか、子育てケアプランを作成する際にも周知を行っています。											C	
事業に対する課題認識												
利用者がスケジュール通知を受け取る時の方法をプッシュ通知にするなど検討していきます。また年々登録者が減少しており、周知方法について再検討していきます。												
令和7年度の取り組み												
現在の周知方法のほか、転入者への周知などを積極的に行っていきます。												

5章		次世代育成支援対策推進事業			1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保					⑦		
通し番号	事業名	健康増進課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
7	任意予防接種運営事業 (麻しん・風しん予防接種事業)			妊娠している女性が麻しんや風しんにかかった場合の母体や胎児に与える影響を考え、これを防止し、先天性風しん症候群を防ぐため、麻しん風しん予防接種の一部費用助成を行っているものです。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
助成件数	件	104	92	96	150	99	100	100	99%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
18歳以上の麻しん・風しんを2回接種していない方または抗体価が低下している方で、妊娠を希望している女性及びその夫、妊婦の夫に対し、助成を行いました。内訳：市負担額5,665円×99件=560,835円（自己負担額4,400円）											B	
事業に対する課題認識												
平成28年度から麻しん・風しん予防接種の一部費用を助成していますが、当該予防接種の認知度をさらに上げていく必要があります。												
令和7年度の取り組み												
麻しん・風しん予防接種事業について、引き続き、市ホームページで周知していきます。												

5章		次世代育成支援対策推進事業			1-(1) 母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保					⑧		
通し番号	事業名	健康増進課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
8	休日や急病時の医療体制の整備			365日の夜間及び日曜日・祝日・年末年始の昼間に急病診療所を開設し、急病の子どもの初期診療を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
小児科受診者数	人	433	592	694	1,981	1,344	1,650	1,650	81%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
救急医療体制の充実を図るため、健康センター内に、365日の夜間及び日曜・祝日・年末年始の昼間に急病診療所を開設しており、日曜・祝日の昼間においては、小児科医による小児の初期救急を行うことで、小児救急体制の充実を図りました。											B	
事業に対する課題認識												
急病診療所では、執務医確保のため本市医師会と委託契約を締結しているところですが、令和6年度から適用された「医師の働き方改革」や医師会所属医師の高齢化に伴い、執務医師単価の増加や担当執務医の減少が予想されます。今後も、受診者の小児初期救急医療ニーズに適切に対応することができる急病診療所運営体制を確保できるよう、本市医師会と協議を重ねてまいります。												
令和7年度の取り組み												
今後も、医療機関での通常の診療時間でカバーすることが難しい休日等の小児初期救急医療ニーズに対応できるよう運営体制確保に努めます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(2) 子育て支援サービスの実施	①					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
9	幼稚園子育てすこやか広場の実施			市立幼稚園・幼稚園型認定こども園を開放し、親子・幼児同士の遊びの指導を通じて地域の幼児間・保護者間の交流を図るすこやか広場を実施します。また、保育カウンセラーを派遣し、保育相談を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加人数	人数	509	363	1,349	2,663	2,493	2,700	2,700	92%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
子育てすこやか広場を、市立幼稚園・認定こども園14園で各園年間20回、計280回実施しました。保育カウンセラーの保育相談は各園年間10回、計140回実施しました。											B
事業に対する課題認識											
園ごとの利用者人数の格差や、令和5年度に比べ園ごとに増減の差があることが課題です。											
令和7年度の取り組み											
参加人数を増やすため市民への周知を行い、子育て支援の充実を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(2) 子育て支援サービスの実施	②					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
10	保育園園庭開放			在宅で子育て中の親子を対象に公立保育園を定期的に開放し、遊びへの参加（園庭遊び、季節の遊び、行事参加）を支援します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
園庭の開放	人	46	0	0	509	1,144	1,200	1,200	95%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
コロナ明けの令和5年度を経て、コロナ前の実施内容に概ね戻っています。各園とも月2回程度の園庭やホール開放、栄養士や看護師による講話等を行っています。											B
事業に対する課題認識											
各園の立地条件や実施内容によって利用人数に大きな差があることが課題です。											
令和7年度の取り組み											
開催日時や内容、また、地域への周知の仕方についても見直し、利用者の増加に繋がるよう改善を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(2) 子育て支援サービスの実施	③					
通し番号	事業名	社会福祉課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
11	社会福祉協議会の子育て支援事業			住民主体の活動の場として、社会福祉協議会支部が行う子育てサロンや子育て世帯間の交流・情報交換を促進する事業を、関係機関と連携を図りながら支援します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
支部社協子育てサロン	回数	26	43	62	77	80	75	80	107%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
東1支部：3回、東2支部：11回、西1支部：6回、西2支部：11回、南1支部：6回、北1支部：4回、北2支部：11回 海浜1支部：18回、海浜2支部：10回											B
事業に対する課題認識											
支部活動の担い手は、開始当初から活動している方も多く、高齢化が進んでおり、活動者が不足して開催が不可能になってしまった支部もあります。そのため、引き続き新たな若年層の担い手を発掘していく必要性があります。											
令和7年度の取り組み											
各支部社協の計画は以下の通りです。 東1支部：4回、東2支部：10回、西1支部：6回、西2支部：11回、南1支部：6回、北1支部：4回、北2支部：12回、海浜1支部：12回、海浜2支部：10回											

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(3) 情報提供・相談体制の確保	①					
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援	①②					
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
12	子育てケアプラン作成事業			子育て世帯の悩みや不安感、孤独感を軽減し、妊娠前から継続した支援を行うため、妊娠期・出産前後・子どもが1歳の誕生日前後の基本3回の時期に、子どもの成長に応じた「子育てケアプラン」を作成します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
ケアプラン作成	件	3,289	1,904	1,488	1,286	1,337	1,881	2,038	71%	C	C
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
妊娠期から子育て期にかけ、妊産婦の精神的・身体的支援につなげるため3回に分けてケアプランの作成を行いました。妊娠届出時のケアプラン受付時間を延長したり、産後の子育て応援給付金対応を原則地域子育て支援員が行うよう業務の見直しをすることで、作成数の増加を図りました。											C
事業に対する課題認識											
引き続き、産前産後と1歳の誕生日前後のケアプラン作成数増加のため対策が必要となります。											
令和7年度の取り組み											
0歳児の体重測定受付時間を拡大し、産婦がより気軽に相談できる環境づくりを行います。 1歳の誕生日前後のケアプラン作成をした場合に記念撮影ができるサービスを実施し、周知につなげます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			1-(3) 情報提供・相談体制の確保	②						
6章	こどもの貧困対策関連事業			2 生活の安定に向けた支援	⑤						
通し番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
13	育児相談等			保健師や栄養士、歯科衛生士等の専門職が妊産婦の妊娠・出産・育児等に関する相談に応じるほか、乳幼児の身体計測、発育・発達の確認を行います。妊産婦の不安や悩みの軽減を図るとともに、乳幼児の発育・発達の遅れや疾病、母子の抱えるリスク等を早期に見・把握し、関係各課並びに関係各機関と連携しながら妊産期から子育て期にわたる継続した支援を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
実施回数	回	28	32	36	35	36	36	36	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
乳幼児の身体測定および月齢に応じた成長、発達の確認をしています。異常が疑われる場合は適切な医療が受けられるよう専門医療機関での受診を勧奨したり、経過観察の必要な児に対しては適宜来所を促し、継続フォローをしています。相談事項に対する保健指導や離乳食を中心とした栄養指導、歯科相談を行っています。											B
事業に対する課題認識											
設備面では、多目的室のインターネット環境が確保されたことにより、健康管理システムの利用ができるようになりました。現在も紙カルテとの併用になり、システムへの入力・紙への記入には煩わしさがあるものの、相談前に紙カルテを探す手間が省け、事業運営を円滑に施行することにつながりました。											
令和7年度の取り組み											
母子保健課で取り扱うフォローケースの中では、支援を受けたくても自ら助けを求められない対象や支援の必要性を感じていない対象も多く存在するため、今後より広い層に対して支援の目を向けていきます。相談事業は、類似事業も存在しています。そのため、今後は健診後のフォローの場として有効活用していきたいです。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			1-(3) 情報提供・相談体制の確保	③						
6章	こどもの貧困対策関連事業			2 生活の安定に向けた支援	⑦						
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
14	子育てポータルサイトによる情報発信			市民が広く利用する子育てポータルサイトに対して行政情報を提供し、官民の情報を集約することで、妊娠中、子育て中の保護者にとって利用しやすいサイトを構築し、保護者の子育てに関する情報取得の支援をします。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
ページビュー数	PV	596,534	614,782	601,782	534,564	555,125	580,557	580,557	96%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
民間と行政の子育て支援情報を一元化して発信することにより、利用者が必要な情報を収集しやすくなっています。また、年齢別・状況別ガイド、イベントカレンダー、特集記事など、市民の関心が高く、利用しやすいコンテンツを提供しました。											B
事業に対する課題認識											
子育てに関する情報がめまぐるしく変わる中で、新しい情報を取り入れながらサイトの周知を進めていく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、子育て中の方が利用しやすく、わかりやすい情報源を提供するために周知を進めていきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			1-(3) 情報提供・相談体制の確保	④						
6章	こどもの貧困対策関連事業			2 生活の安定に向けた支援	⑦						
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
15	子育てハンドブックの発行・配布			妊娠期から子どもが就学するまでの市の様々な子育て支援サービス等を紹介する「子育てハンドブック」の内容充実を図りつつ、定期的な発行を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
配布数	冊	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
母子手帳交付時等に、出産、子育てに関する情報が必要となる方に向けて配布しました。また、各種サービスや支援制度などを、手軽に使える小冊子にまとめることで、子育て世帯の情報取得負担の軽減を図りました。											A
事業に対する課題認識											
多様な情報が必要になる子育て世帯の情報取得負担を軽減するために、ハンドブックの周知を進めていきます。											
令和7年度の取り組み											
7月に最新版となる2025年版を発行し、引き続きハンドブックの周知を進めていきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			1-(3) 情報提供・相談体制の確保	⑤						
6章	こどもの貧困対策関連事業			2 生活の安定に向けた支援	⑦						
通し番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
16	ひとり親家庭の相談		○	母子・父子自立支援員がひとり親家庭の生活などの相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行います。また、未就学児のいるひとり親家庭で、父母が病氣・就職活動などで一時的に生活援助を必要としている場合や生活環境の変化などで日常生活に支障が生じている場合にホームヘルパーを派遣します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
相談件数	件	2,769	2,959	3,379	3,550	2,995	3,300	3,100	91%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
ひとり親との相談を通じ、家庭の状況を踏まえて提供できるサービスを取捨選択し、自立に必要な指導・助言を行いました。ホームヘルプサービスの派遣については、派遣するひとり親家庭の状況を把握し、適切な頻度で派遣を行うよう調整しつつ派遣を行いました。											B
事業に対する課題認識											
それぞれの家庭が抱える問題解決にむけて、変化する制度や家庭をとりまく環境等にその都度柔軟性をもって対応していけるよう、関係機関との調整をより綿密に行う必要があります。											
令和7年度の取り組み											
相談を通じ、各家庭が抱える問題を把握し、またひとり親家庭に対して親の就労状況や健康状態等により適切にホームヘルプサービスが利用できるよう、自立に必要な指導や助言を行うことができるよう支援を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(3) 情報提供・相談体制の確保	⑥					
通し番号	事業名	青少年センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
17	青少年相談事業			青少年の非行防止及び健全育成を図るため、青少年の問題行動や学校、家庭などでの悩みごとについて、青少年センター相談員が相談を受け、問題解決に向けて適切な助言を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介などを行います。相談方法については電話・来所・メールでの相談を受け付けています。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
相談件数	ケース数	45	42	44	29	24	30	30	80%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
専門の相談員が、青少年の問題行動や学校・家庭職場等での悩み事について、本人・保護者・家族等から相談（電話・来所・メール）を受け、問題解決に向けて適切な助言や支援を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介等を行いました。											A
事業に対する課題認識											
青少年の問題行動や学校・家庭職場等での悩み事について、本人・保護者・家族等から相談（電話・来所・メール）を受け、問題解決に向けて適切な助言や支援を行うとともに、必要に応じて専門機関と連携して、相談者を多角的にサポートしていくことになるため、今後も状況に応じ積極的に実施していきます。											
令和7年度の取り組み											
青少年の問題行動や学校、家庭等での悩み事について、青少年、青少年の保護者、青少年の家族等からの相談を受けます。電話・メール・面談により実施し、問題解決に向けて適切な助言を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介等を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(3) 情報提供・相談体制の確保	⑧					
通し番号	事業名	こども家庭支援センター・こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
19	こどもの相談体制構築事業			こどもの育ちと子育てを切れ目なくサポートするため、基幹拠点であるこども家庭センターを中心として、地域拠点や教育機関と連携し、市全域において偏りのない相談体制を構築します。また、地域拠点には相談窓口だけでなく、「親同士の交流・子どもの見守り」等の機能を持たせ、多様なニーズに対応する包括的なサービスを提供します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
地域子育て相談機関の数	か所	—	—	—	—	0	3	8	—	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
母子保健と児童福祉が一体となった「こども家庭センター」を設置しました。また、相談体制や相談機関の配置場所や開設時期などの整備計画を具体的に示した「子どもに関する新たな相談体制構築に向けた基本計画」を策定しました。											B
事業に対する課題認識											
子ども自身や妊婦・子育て世帯が相談しやすく、垣根の低い相談窓口を市内全域を網羅するかたちで複数箇所に整備します。											
令和7年度の取り組み											
こども家庭センターにおいて、子どもに関するなんでも相談を開始します。また、「地域子育て相談機関運営指針」を作成し、地域子育て相談機関を3か所開設します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				1-(3) 情報提供・相談体制の確保	⑦					
通し番号	事業名	地域振興課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
18	外国人相談窓口の実施			外国人市民も日本人と同様の公共サービスを受け、安心して生活できるよう、外国人相談窓口において、多言語による子ども・子育てに関するサービス等の情報提供や、市役所内での手続きのサポート、必要に応じて、関係部署と連携した支援を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
窓口対応言語数	言語	6	6	6	6	74	74	74	100%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
日本語の学習、市政情報、医療、その他生活全般の外国人市民が必要とする情報の提供や生活上の問題解決に向けて支援することができました。なお、外国人相談アドバイザーの対応言語以外の言語については、翻訳機器（74言語対応）を用い相談業務を行っています。											A
事業に対する課題認識											
外国人相談アドバイザーで対応可能な言語数が3言語、それ以外は機械翻訳機（ボケトーク）を使用して対応することになります。機械翻訳機（ボケトーク）を利用した対応は、時間のかかる相談に適さないことから、今後どのように対応していくか課題であると認識しています。											
令和7年度の取り組み											
外国人の抱える様々な問題に対応するため、引き続き相談業務を継続していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(1) 幼児教育・保育の提供	①					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
20	保育士確保事業			市内の保育士の人材確保と定着を促進するため、保育士の賃金の上乗せを行う保育士等処遇改善費補助事業、保育士の居住支援を行う私立保育所等保育士等宿舍借上げ支援事業等による補助金を、私立保育園等に対し交付します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
補助金の交付	人	496	585	609	639	644	660	660	98%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
国の交付要綱に沿って事業内容や単価等を見直しました。											B
事業に対する課題認識											
国の動向を注視し、事業内容や単価等を見直す必要があります。											
令和7年度の取り組み											
交付要綱を見直し、適切に補助金が交付できるよう事業者への周知を徹底します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(1) 幼児教育・保育の提供	②					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
21	浦安市就学前保育・教育指針「いきいき☆浦安っ子」による連携の推進			<p>市立保育園・幼稚園・認定こども園で培ってきた保育・教育のノウハウを十分に生かしつつ、同じように質の高い保育・教育が受けられるよう、現場に市の就学前保育・教育指針「いきいき☆浦安っ子」による連携の周知浸透を図り、保育・教育の質の向上に努めます。</p> <p>また、本指針の見直しを行い、更なる質の向上と、保育・教育の内容の充実を図ります。</p>							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
連携園数	園	21	21	21	21	21	20	20	105%	A	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
<ul style="list-style-type: none"> 各保育、教育施設において、本指針を用いた研修、指導案の作成 ホームページによる市民への提供 										B	
事業に対する課題認識											
<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育に関わる全ての職員の共通理解 利用率の向上 											
令和7年度の取り組み											
<ul style="list-style-type: none"> 改訂委員会、作業部会の実施（年8回） 報告会の開催 改訂後ホームページによる市民への提供 											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(1) 幼児教育・保育の提供	③					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
22	今川地区保育園建設事業			<p>富岡保育園の園舎等施設は老朽化が進んでいる状況です。今後も施設を安全かつ機能的に利用するために、老朽化への対応及び保育環境の整備が必要となっていることから、建替工事を実施し、今川地区に新園舎を整備します。</p>							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
設計・工事	事業進捗率	—	—	—	5	10	20	100	50%	C	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
設計業務を発注し、基本設計を進めました。										B	
事業に対する課題認識											
<p>事業説明会にて参加者から出た要望に対する設計見直しの実施等により事業スケジュールを調整しました。今後、工事発注に向け、期限内に設計業務を完了させる必要があります。</p>											
令和7年度の取り組み											
設計業務を完了、工事発注を実施し、工事に着手します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(1) 幼児教育・保育の提供	④					
通し番号	事業名	市民スポーツ課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
23	幼児期体力向上支援事業			<p>運動公園施設と指定管理者が持つ運動指導のノウハウを活用し、幼児に楽しく運動をするプログラムを提供することで、幼児期における体力向上と生涯にわたり健康を維持する運動習慣の基盤をつくります。</p> <p>なお、市民スポーツ課は、利用者の拡大に向け、各園と総合体育館との送迎バスの運行を行っています。</p>							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
教室利用率	%	—	—	65.3 (R4.8開始)	60.9	60.7	75	75	81%	B	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
<p>幼児が楽しく運動できるプログラムの提供と併せ、送迎のためのバスを用意し、利用率の拡大に努めてきましたが、令和6年度実績では、開催を予定していた578回のうち、351回の利用があり、利用率は60.7%となりました。</p>										C	
事業に対する課題認識											
<p>市内認可保育園等に対する本プログラムの周知が十分ではないこと、また、市内認可保育園等の全58園のうち19園については、本事業と類似のプログラムを園独自で実施していること等により、利用が未登録となっています。</p>											
令和7年度の取り組み											
<p>園庭のない園にとって、運動公園の施設を使い、園児に運動の機会を提供できることは効果的であるため、引き続き市内認可保育所等に対し、本プログラムの周知を図るとともに、運動公園ならではのプログラムに見直しを図り、登録園の増加に向け、取り組んでいきます。</p>											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(2) 多様な保育サービスの実施	①					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
24	休日保育の実施			<p>保育園に子どもを預けている保護者が日曜・休日に就労や病気などで子どもの保育ができない場合、保育園で休日保育を実施します。</p>							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
利用児童（延べ）	人	163	214	247	214	151	107	107	142%	A	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
市内私立認可保育園2園にて休日保育を実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
<p>利用ニーズがあるため、引き続き継続して事業を実施する必要があります。</p>											
令和7年度の取り組み											
継続して事業を実施します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(2) 多様な保育サービスの実施	②					
通し番号	事業名	各公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
25	公民館主催事業の保育の実施			乳幼児を持つ保護者の学習をサポートするため、公民館主催事業の際に一時保育を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
保育付き主催事業の実施教	事業	39	34	32	50	59	50	50	118%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
ニーズに応じて一時保育を実施することで、乳幼児を持つ保護者の学習をサポートすることができました。											B
事業に対する課題認識											
参加者等の急な体調不良等により、やむを得ず保育の利用が欠席となったことにより、手配した保育者に余剰が生じるため、手配する保育者の人数に苦慮しています。このため、各種事業実施においては、期間内であれば、都合の良いタイミングで自宅から自由に視聴できるアーカイブ配信の導入等も踏まえ、参加方法の拡充を検討することが課題であると考えています。											
令和7年度の取り組み											
令和6年度と同様の取り組みを継続していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(2) 多様な保育サービスの実施	③					
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援	⑧					
通し番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
26	エンゼルヘルプサービスの実施		○	保護者が出産や病気などの際に、周りから支援が見込めない産後2か月までの子どもがいる家庭を対象に、保護者に代わって家事や育児支援を行うエンゼルヘルパーを派遣し、多胎児利用の場合は手数料を減額します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
派遣件数	件	122	94	115	145	135	130	120	104%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
出産後や体調不良時に夫や祖父母などからの支援が十分に見込めない保護者を対象に、沐浴などの育児や家事支援をするエンゼルヘルパーを派遣しました。											B
事業に対する課題認識											
ファミリー・サポート・センター事業と支援内容が重複する部分があり、利用者が混同することがあるため、双方の支援内容を明確にしていく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
家事・子育て等に対して不安や負担を抱える家庭がいた場合は担当の相談員に繋げ、対象家庭の養育環境を整えられるよう協力して育児・家事支援を実施していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				2-(2) 多様な保育サービスの実施	④					
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
27	託児保育者派遣事業			育児期間でも気軽に市の主催事業に参加し、学習などができるよう、子育て支援員研修の修了者などを託児保育者として登録し、市主催託児付き事業に参加する子どもを保育します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
登録者	人	36	48	29	28	27	33	33	82%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
託児保育が必要な事業を行った団体に、延べ15人の託児保育者を派遣しました。											B
事業に対する課題認識											
託児保育者を各団体に適正に派遣できるように登録者の人数を維持する必要があります。また、市が主催する事業を把握し、託児を必要とする所管課と調整し利用促進を図る必要があります。											
令和7年度の取り組み											
継続的な募集により託児保育者の人数を維持していきます。また、託児が必要な事業を行う所管課が、当該事業を理解し必要に応じて利用してもらえるように周知及び調整を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	①					
通し番号	事業名	教育政策課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
28	学校規模適正化事業			児童・生徒のより良い教育環境の整備と教育の質の充実を目的として策定した「浦安市学校規模適正化基本方針」（平成31年3月浦安市教育委員会）について、令和5年度改版に基づき、適正規模に当てはまらない学校については、学校や地域の現状・特色に合った検討を進めるとともに、児童・生徒の教育活動を充実させるほか、コミュニティ・スクール制度の活用等により、地域とともにある学校づくりを推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
特定地域選択制 (令和3年度新入学時より)	人	28	17	30	20	47	30	30	157%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
前年度に引き続き「特定地域選択制」を実施し、大規模校の学級増加を抑制しました。また、小規模校対策として、学校や地域の現状・特色に合った教育を実施するための検討を行いました。											B
事業に対する課題認識											
大規模校対策として実施してきた「特定地域選択制」については、実施しない場合に比べて、毎年1学級程度の人数が他の学校を選択していることから、一定の効果が表れています。今後は小規模校対策を行っていく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き大規模校対策として「特定地域選択制」を実施します。小規模校対策として、学校間の連携を強化し、より良い教育効果を生み出すための「学校間連携教育実施方針」の策定を予定しています。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	②						
通し番号	事業名	指導課・学務課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
29	少人数教育推進事業			学年・教科支援教員研修を通して、ティーム・ティーチングや少人数指導（習熟度別、単純分割）など児童・生徒の実態に合った、わかる授業・できる授業づくりを推進します。 県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導を行い、習熟度別少人数指導を推進していきます。								
主な活動指標（事業実績）		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
「浦安市小・中学生生活実態調査」で「少人数で行う授業はわかりやすい」の肯定的回答割合		%	(隔年実施のため)	小79.8 中85.3	(隔年実施のため)	小80.1 中80.2	(隔年実施のため)	小85 中85	小85 中85	97.6% (R5) ※隔年実施のため	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
学年・教科支援教員に対して、教育センター及び保健体育安全課と連携し、年3回の研修を実施しました。研修内容としては、それぞれの教員の 困り感 に応じて、算数科や保健体育科に関する教科指導、学習支援ソフトなどの情報活用、配慮を要する児童に対する手立てなどを研修できるようにしました。また、それぞれの教員が年間を通じた課題や目標を設定し、主体的に授業研究を実施することができました。											B	
事業に対する課題認識												
令和7年度より理科教育推進教員が学年・教科支援教員となり、学年・教科支援教員の仕事の内容が多様化することとなります。理科支援、特別支援、教科指導といった様々な教員のニーズに応じた研修を実施していくことが求められると予想されます。												
令和7年度の取り組み												
他課と連携し、学年・教科支援教員に対する研修をそれぞれのニーズに合った内容とします。理科教育支援も学年・教科支援教員の業務の一つとなったため、研修日時を別にして業務の内容に合った研修を別途実施することとします。指導者用デジタル教科書を整え、算数科を中心とした少人数指導で活用できるようにしていきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	④						
通し番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
31	ふるさとوراやす立志塾の開催			多様な人々と協働した取組を通して、リーダーとしての資質・能力を育成するための研修に参加し、地域への愛着を深めるとともに社会貢献へ自覚をもち、地域活動への積極的な参加をしようとする態度を育成していきます。								
主な活動指標（事業実績）		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
全5回の研修を実施		%	100	100	100	100	100	100	100	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
市内中学校9校のリーダーたちが集まり、共通の課題に対して具体的な活動を提案・実施できました。また、各学校の現状に合わせた取組を各学校で実施し、報告会にて発表しました。											B	
事業に対する課題認識												
原則、平日開催にします。また、学校職員の派遣を廃止し、指導課職員だけで運営します。内容を精選し、塾長を立てずに実施できるような内容にします。												
令和7年度の取り組み												
郷土愛を育むとともに、リーダーとしての資質や意識を向上できる研修を実施していきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	③						
通し番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
30	地域とつながる教育活動推進事業			地域とつながる教育活動推進事業については、浦安市学校教育推進計画に定める4つの観点からなる「目指す子ども像」の実現に向けて、学校(園)と地域の連携・協力による「地域とともに子どもを育てる学校づくり」「一人ひとりの個性が輝く学校づくり」「地域に信頼され、開かれた学校づくり」を推進する事業を実施し、児童生徒の豊かなかかわりをもてるような体験活動や教育活動を充実させていきます。								
主な活動指標（事業実績）		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
活動した学校(園)数		校(園)	40	40	40	40	40	40	40	100%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
地域の方が体験活動等に参加することで、地域の方が学校を身近に感じることができ、また、園児や児童生徒が地域の方と関わることで社会性を培うことができる取り組みができました。											A	
事業に対する課題認識												
地域により活動の差が出てくる可能性があるため、地域の方への周知や各学校や各園に対する事業説明が必要になります。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、より活動を広げて地域全体で子どもを育む事業を実施します。そのため、他の学校や園の取り組みを情報共有し、市ホームページでも広報していきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	⑤						
通し番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
32	体力向上推進事業			市立小中学校の体育指導の充実と児童・生徒の体力向上を図る取組を推進するため、研究推進校を指定します。また、各市立小中学校で策定する体力向上年間計画に基づき、保健体育科をはじめ、学校行事や部活動などを通じて、児童・生徒の運動に対する理解や体力の向上を図ります。								
主な活動指標（事業実績）		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
研究指定校数		校	6	6	6	6	6	6	6	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
研究推進指定校：小学校4校、中学校2校で実施。指定校以外の小中学校にて、体力向上推進年間計画の作成と実施。部活動も小中学校それぞれの専門部において各種大会を実施。											B	
事業に対する課題認識												
研究指定校の取組みを各学校に周知して、各学校において体力向上に取り組んでいます。課題としては、体力テストの数値がコロナ禍の前よりも低くなっているため各校の重点を置く種目を決め体力向上を図っていききたいと思います。												
令和7年度の取り組み												
市立小中学校の体育指導の充実と児童・生徒の体力向上を図る取組を推進するため、研究推進校を指定します。また、各市立小中学校で策定する体力向上年間計画に基づき、保健体育科をはじめ、学校行事や部活動などを通じて、児童・生徒の運動に対する理解や体力の向上を図ります。												

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	⑥							
6章	子どもの貧困対策関連事業			1 教育の支援	④							
33	生命や健康、性教育についての知識の普及推進	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
主な活動指標(事業実績)		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
講演会実施校数		校	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
			24	24	26	26	26	26	26	100%	A	A
令和6年度の実施状況												令和6年度評価
市立小中学校全校において生命や健康、性教育に関する保健教育講演会を実施しました。												A
事業に対する課題認識												
昨年度同様、市立小中学校全校において講演会を実施することができており、保健教育を推進することができています。												
令和7年度の取り組み												
市立小中学校全校において、引き続き生命や健康、性教育に関する保健教育講演会を実施します。												

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	⑧							
6章	子どもの貧困対策関連事業			1 教育の支援	④							
35	浦安市いちょう学級	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
主な活動指標(事業実績)		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
いちょう学級を利用して、行動の変容がみられるようになった児童生徒率		%	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
			-	76	85	87	82	80	80	103%	A	A
令和6年度の実施状況												令和6年度評価
不登校やひきこもり傾向にある児童生徒について、家庭や学校からの相談に対し、個々の状態に応じたきめ細かな指導・支援を行うとともに、小集団での様々な体験活動等を通して、ゆるやかな学校復帰等を図ってきました。管理職やS L C、学級担任との情報交換や児童生徒の理解、指導・支援方法について共通理解を図るようにし、必要に応じて関係機関との連携も行いました。												B
事業に対する課題認識												
小学生の相談、利用の増加や支援を要する児童生徒を含む個別の指導・支援が必要な児童生徒が増加傾向にあります。訪問相談では訪問しても会うことができないケースが少なく、不登校やひきこもり傾向からなかなか回復できない期間が長引くほど、外に出ることや人と会うことが難しくなっています。												
令和7年度の取り組み												
体験学習や行事、小集団活動を通して、児童生徒の意欲や自信を高めるとともに、通級生同士の関係が深まるような活動に取り組んでいきます。児童生徒の社会的自立を支援すると共に、悩みを抱える保護者にも寄り添う相談活動を行います。浦安中学校分教室UM Iや各校の校内教育支援室、関係諸機関との情報共有や連携を深めていきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	⑦							
5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	⑨							
34	いじめ問題等対策事業	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
主な活動指標(事業実績)		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
いじめの解消率		%	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
			84.4	84.3	86.7	87.2	82.5	100	100	83%	B	B
令和6年度の実施状況												令和6年度評価
いじめ110番といじめおしえてメール相談を1人1台端末L-Gateからアクセスできるようにし、児童生徒が直接相談できる環境を構築しました。いじめ110番の利用者は実人数で9名と前年度より増加しました。メール相談実人数は9名で前年度とほぼ変わらない人数でした。電話・メール相談をきっかけとして始まる相談者とのやり取りは複数回行われ、学校や関係機関につなげています。												B
事業に対する課題認識												
いじめの被害を受けた児童生徒が安心して大人に相談できる環境といじめを見た第三者が相談できる環境を各家庭に周知することが必要です。												
令和7年度の取り組み												
いじめ問題の早期発見、早期対応を行っていくために、いじめに対する認知及び初期対応をフロー化して、各小中学校で共通理解を図ります。また、いじめ110番やいじめおしえてメール相談をキッズビューで配信し、周知徹底を図ります。												

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり	⑨							
36	学びの多様化学校運営事業	指導課・教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
主な活動指標(事業実績)		単 位	実 績			目 標		2期計画の評価				
分教室生徒(定員)数		人	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
			-	-	-	-	0	15 (30)	30 (30)	-	-	-
令和6年度の実施状況												令和6年度評価
①令和7年度開室に向けた学校説明会の開催、②三者面談の実施、③分教室運営委員会の開催、④入室生徒の決定												-
事業に対する課題認識												
主な活動指標を分教室生徒(定員数)に設定していますが、入室募集にあたっては定員を満たすものではなく、三者面談や体験を通して生徒の実態を見極め、個に適切な学びの場を考えていくもので、分教室の入室・登校が難しいと判断した生徒に対し、学校や関係機関と連携しながら関わっていく必要があります。												
令和7年度の取り組み												
①令和7年度2学期入室に向けた入室説明会の開催、②三者面談の実施、③体験入室(5日間)の実施、④分教室運営委員会の開催、⑤入室生徒の決定 ①令和8年度入室に向けた入室説明会の開催、②三者面談の実施、③体験入室(5日間)の実施、④分教室運営委員会の開催、⑤入室生徒の決定												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(1) 生きる力を育む学校教育環境づくり				⑩			
6章												
通し番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
37	情報活用能力育成の推進			児童生徒が、課題や目的に応じて情報や情報手段を主体的に選択し活用する力、情報の特性により表現方法を工夫するなど自らの情報活用能力を向上させようとする力、情報モラルの必要性や情報に対する責任を理解し望ましい情報社会へ参画しようとする態度を育成するために、発達段階に応じた指導を推進します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
「浦安市児童生徒情報教育実態調査」4項目の肯定的回答割合	%	77.7	77.9	77.4	77.8	81.2	83	85	98%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
①親子で学べるeラーニングの実施②特別の教科道徳を核とした児童生徒への情報モラル・デジタルシティズンシップ教育の実施③全教職員への情報モラル等に関するeラーニングの実施④ICT支援員による教職員（一部）への情報モラル研修の実施											B	
事業に対する課題認識												
児童生徒に対しては特別の教科道徳を中心として、年1回以上の情報モラル・デジタルシティズンシップ教育を実施していますが、タブレット端末を自宅に持ち帰った際の課題が報告されています。内容としては、学習と関係のないホームページを閲覧したり、夜中まで動画サイトを見たりするなどの事例が指摘されています。												
令和7年度の取り組み												
令和7年度にリプレイスするタブレット端末に時間制限機能を備えたフィルタリングソフトを導入することで、自宅での持ち帰りの際に学校が利用時間を制限できる機能を用意する予定です。また、許可したホームページのみ閲覧できるようなホワイトリスト機能も備えることで、学習課題や目的に応じたホームページのみ閲覧できるようにしていきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(2) 放課後児童の居場所づくり				②			
6章	こどもの貧困対策関連事業				1 教育の支援				③			
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
39	放課後子ども教室の充実		○	放課後子ども教室は、学校施設等を活用して子どもが自主的に活動する遊び場を提供します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
参加延べ人数	人	49,533	69,303	73,069	79,169	110,610	115,522	136,526	96%	B	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
児童や保護者にとって、安心して利用できるような環境で運営を行うことができ、放課後のこどもの居場所を確保することができました。											A	
事業に対する課題認識												
一部の子ども教室では、学校の施設を借用し運営していますが、学校児童数の増加に伴い、施設を借用することが困難となってきたことから、今後、子ども教室を実施する場所を確保することが課題となっています。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、児童や保護者にとって、安心して利用できるような環境で運営を行うとともに、各子ども教室スタッフの横のつながりの強化や、地域住民との交流を増やしていくよう促します。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(2) 放課後児童の居場所づくり				①			
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援				①			
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
38	児童育成クラブの整備・充実		○	児童育成クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童を対象に、放課後等の時間帯に、家庭に代わる生活の場を提供する。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
入会申請のあった児童の入会率	%	100	100	100	100	100	100	100	100%	A	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
児童育成クラブに入会する児童数の増加に伴い、小学校の放課後から使用可能な施設等を借用し、待機児童を出すことなく運営を行うことができました。											A	
事業に対する課題認識												
児童育成クラブの入会児童数が年々、増加傾向にあり、一部の児童育成クラブでは待機児童を出さないよう学校の施設等を借用し運営を行っていますが、今後も入会する児童数が増えた場合、小学校から借用する施設にも限りがあることや、新たな施設を整備するにも用地がないことが課題となっています。												
令和7年度の取り組み												
令和6年度に引き続き、小学校の放課後から使用可能な施設等を借用し、待機児童を出すことなく運営を行います。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(2) 放課後児童の居場所づくり				③			
6章	こどもの貧困対策関連事業				1 教育の支援				②			
通し番号	事業名	児童センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
40	児童センター事業		○	東野児童センターと高洲児童センターは、こどもが安心して過ごせる安全な居場所であり、様々な遊びや活動を通して心身ともに健やかに成長することを目的に各種事業を行います。また、子育てを楽しむ環境をつくり、家庭、学校、地域との連携を密にして地域に親しまれる児童センターを目指していきます。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
延来館者数	人	15,871	31,055	37,502	51,025	50,414	56,000	78,000	90%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
0歳～18歳未満のこどもと保護者の居場所となるよう、こども健全育成事業、子育て支援事業、地域貢献事業を各種行いました。また、各部屋に職員を配置し、こどもの安全な居場所づくりに努めました。											B	
事業に対する課題認識												
来館者が多い日などは、安全の確保のために人手が必要となり、人員の確保が課題となります。また、児童センターが中高生世代も利用できることをより周知する必要がある、その周知方法が課題となります。												
令和7年度の取り組み												
より多くのこども達に来館していただけるよう、各種イベントを企画し、広報手段にSNSを活用するなど、児童センターの活動の周知方法を検討します。また、中高生向けのイベントを企画し、近隣中学、高校に直接呼びかけるなど、周知方法を検討します。												

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(2) 放課後児童の居場所づくり	④						
6章	こどもの貧困対策関連事業			1 教育の支援	⑥						
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
41	青少年館管理運営事業		○	小学生から22歳以下の青少年が、自由に集い自主的に活動できる施設として「青少年館」の活用を図るとともに、中高生向けの事業の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
延べ利用者数	人	12,462	22,082	26,035	31,237	37,095	34,000	38,000	109%	A	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
令和6年度の青少年館の利用者数については、令和5年度の31,237人に比べ約20%増加しています。利用者への効果的なサービスの提供と施設の内滑な運営を行い、青少年の活動及び学びの場を提供しました。										B	
事業に対する課題認識											
青少年館については、小学生に比べ中学生以上の利用者が少ないことが課題となっています。											
令和7年度の取り組み											
施設の特性を生かし、施設の設置目的に沿った事業を展開していくと共に、利用者アンケート等により青少年のニーズを捉え、利用者の増加や満足度が向上するよう、様々な取り組みを行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実	①						
通し番号	事業名	児童センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
42	未来のパパ・ママ体験			小学4年生から中学・高校生世代までを対象とし、講義や赤ちゃんとのふれあいを体験します。赤ちゃんや子育てに関する正しい知識を得て、命の大切さや成長していくことの素晴らしさを知ることが目的に事業を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加人数	人	0	0	5	10	22	30	50	73%	C	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
妊婦エプロンをつけての妊婦体験や赤ちゃん人形を使用して抱っこ練習を行い、赤ちゃんサロン内で実際の赤ちゃんとのふれあい体験を行いました。なお、近隣の児童育成クラブにも募集をかけてご参加いただきました。										B	
事業に対する課題認識											
本事業に今のこどもが興味を持っているのか、実態を把握しきれていないところが課題となります。また、より多くのこどもに周知できるよう、周知方法やチラシデザインを再検討する必要があると考えます。											
令和7年度の取り組み											
児童センターの利用促進もかねて、中高生世代にも周知を広げ、より幅広い年齢層が参加してもらえるよう検討していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実	②						
通し番号	事業名	中央図書館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
43	ブックスタート事業			子どもの成長段階に合わせ、子どもと本をつなげるため、絵本の配布及び「ブックスタート絵本講座」を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加者数	人	198	183	307	303	355	380	400	93%	B	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
市民課と連携し、出生の記念品としてブックスタートバック（絵本、絵本リスト等）を配布しました。（903セット）生後4か月から5か月の乳児と保護者を対象にブックスタート絵本講座を開催しました。（35回、164組、355名）										B	
事業に対する課題認識											
ブックスタート絵本講座の参加率の増加を図ります。											
令和7年度の取り組み											
市民課と連携し、ブックスタートバック（絵本、絵本リスト等）の配布を継続します。ブックスタート絵本講座の開催時間を参加しやすい時間帯にし、母子保健課と連携してPRを行い参加者の増加を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実	③						
通し番号	事業名	中央図書館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
44	子育て家庭向け図書館事業			図書館及び各分館において、乳幼児と保護者を対象とした各種事業を実施し、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
集會事業延べ参加者数	人	1,872	2,093	4,506	4,588	3,683	4,000	4,000	92%	B	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
中央図書館及び各分館において、子どもと保護者を対象とした各種事業を実施し、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供しました。主な事業としては「えほんのじかん」「とよかのちいさなおたのしみ会」等を実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
子どもの発達段階に考慮した集會事業の開催を継続します。											
令和7年度の取り組み											
子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集會事業を開催していきます。											

5章		次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実							④	
通し番号	事業名	高洲公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的									
45	うらやすこどもクエストの実施			市内在住の小学4年生～6年生を対象に、市内の大学等と連携しながら、その専門性を活かして未来の浦安を担う子どもたちを育成することを目的に開催します。									
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
事業の実施数	事業	0	0	3	3	3	3	3	100%	A	B		
令和6年度の実施状況											令和6年度評価		
市内3大学で事業を実施することができました。											B		
事業に対する課題認識													
夏休みに開催する事業であるため、参加者の熱中症対策や体調管理など安全面に配慮していくことが課題であると考えています。													
令和7年度の取り組み													
令和6年度と同様の取り組みを継続していきます。													

5章		次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実							⑤	
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的									
46	こどもの広場事業			こどもの広場において、幼児、児童を対象とし、「水・土・木・火」をコンセプトに、子どもたちが自由に伸び伸びと遊びながら、様々な体験や交流を通して、創造性や自主性を育むための事業の充実を図ります。									
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
利用者数	人	24,714	26,407	27,902	31,449	34,829	33,000	35,000	106%	A	B		
令和6年度の実施状況											令和6年度評価		
令和6年度の利用者は、令和5年度の31,449人に比べ約11%増加しています。親子の居場所として、様々な体験活動を行えるような施設運営をすると共に、子どもたちがのびのびと自由に遊べるような事業を多数行いました。											B		
事業に対する課題認識													
令和6年度から、利用対象者が18歳までに引き上げとなりましたが、遊び場の内容が小学生以下を対象としているものが多いため、どのように中学生以上の利用者も楽しめる施設運営としていくかが課題です。													
令和7年度の取り組み													
施設の特性を生かし、施設の設置目的に沿った事業を展開していくと共に、利用者アンケート等によりニーズを捉え、 利用者の増加や満足度が向上するよう 、様々な取り組みを行います。													

5章		次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実							⑥	
通し番号	事業名	郷土博物館	貧困対策	事業内容の概要と目的									
47	子育て家庭向け郷土博物館事業			郷土博物館において、幼児、児童、生徒を対象とした体験や博学連携事業を通じて、向学心と郷土愛を育むための様々な事業の充実を図ります。									
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
博物館活用人数 (博学連携事業+休日体験)	人	5,884	7,791	11,085	12,808	14,213	14,000	15,000	102%	A	B		
令和6年度の実施状況											令和6年度評価		
博学連携事業として、小学校3年生の昔のくらし体験、小学校4年生の海苔すき体験などの体験事業や、幼稚園等の受け入れを実施しました。また、休日体験では、郷土料理教室や節分、ひな祭りなどの季節の行事、文化財住宅を活用したかまど体験など、ふるさと浦安について知り、郷土愛を育むための事業を実施しました。											A		
事業に対する課題認識													
郷土の歴史・自然・伝統文化や昔あそびなど、体験を主としたさまざまな取組を実践し、郷土愛を育む機会を提供することができ、事業効果は高いと考えております。しかしながら、イベントごとの参加率にはばらつきがあり、参加者数が増えることで、更なる事業効果の向上に繋がると考えられ、事業の周知方法についても再検討及び改善を行ってまいります。今後も引き続き事業内容を精査し、積極的に改善・拡充をしながら、子どもをはじめとした市民に対し、ふるさと浦安について学ぶ機会を提供していきます。													
令和7年度の取り組み													
引き続き、博学連携事業や休日体験などを実施し、様々な郷土学習機会の提供に取り組んでまいります。													

5章		次世代育成支援対策推進事業			3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実							⑦	
通し番号	事業名	各公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的									
48	子育て家庭向け公民館事業			各公民館において、乳幼児親子・子どもを対象とした事業を企画・実施し、各種教室や交流事業を実施します。									
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
中学生以下や親子の対象事業	事業数	36	46	59	83	70	75	75	93%	B	B		
令和6年度の実施状況											令和6年度評価		
小中学生、小学生と保護者、乳幼児と保護者を対象とした主催事業を実施することで、学習及び交流の機会を創出することができました。											B		
事業に対する課題認識													
近年、生活スタイル等の変化から、期間内であれば、都合の良いタイミングで自宅から自由に視聴できるアーカイブ配信の導入等も踏まえ、参加方法の拡充を検討することが課題であると認識しています。													
令和7年度の取り組み													
令和6年度と同様の取り組みを継続していきます。													

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(3)	こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実				⑧	
6章											
通し番号	事業名	各公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
49	家庭・地域教育力を高める公民館事業			各公民館において、家庭教育学級や子育てをテーマとした講座の開催、子育てサークル同士の交流活動を推進します。また、地域住民や企業、NPO等と連携しながら、青少年の健全育成に向けた地域活動を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
子育てミーティングの学級数	学級	13	11	1	1	2	1	1	200%	A	A
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
令和6年度は、家庭教育講演会及び家庭教育学級では小学校低学年と未就学児の保護者、小学校高学年と中学生の保護者の2クラス編成で開催しました。										B	
事業に対する課題認識											
近年、生活スタイル等の変化から、期間内であれば、都合の良いタイミングで自宅から自由に視聴できるアーカイブ配信の導入等も踏まえ、参加方法の拡充を検討することが課題であると認識しています。											
令和7年度の取り組み											
令和6年度と同様の取り組みを継続していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(3)	こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実				⑨	
6章	こどもの貧困対策関連事業				1	教育の支援				⑦	
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
50	青少年リーダーの育成		○	小学校4年生から中学校3年生を対象に、コミュニケーション能力や客観的視野の育成など、リーダーに必要な3つのソウゾウリョク（創造力・想像力・相奏力）を養うことを目的とした研修を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加者数	人	209	355	397	37	79	50	50	158%	A	A
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
令和6年度は、6月から11月までの期間に、イベント計画で9回、イベント実施で2回、年11回開催しました。令和5年度より、小中学生が講師に様々な講座を教わる「講座形式」から、中学生が小学生に向けてイベントの企画と運営を行う「企画運営形式」に変更しています。										B	
事業に対する課題認識											
イベントへの小学生の応募が非常に多いですが、受け入れできる人数に限界があることです。											
令和7年度の取り組み											
イベントの企画の段階で、これまでの応募人数の実績を鑑み内容を決め、定員を増やすよう検討します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(3)	こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実				⑩	
6章											
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
51	青少年交流活動センター(うら・らめーる)事業			宿泊型の青少年教育施設「うら・らめーる」において、青少年の交流活動や団体生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、文化・芸術などの講座を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
延べ利用者数	人	7,992	7,078	18,637	22,587	22,713	23,000	23,000	99%	B	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
令和6年度の利用者は、令和5年度の22,587人に比べ、横ばいでした。宿泊型研修施設として青少年の交流、研修や団体活動を通じて青少年の健全育成を図ると共に、青少年が地域との交流を持てるような自主事業を展開しました。										B	
事業に対する課題認識											
青少年団体に多く利用してもらうために、宿泊料金や施設の予約開始日に差を設けていますが、一般の利用も多いことが課題です。											
令和7年度の取り組み											
施設を必要とする利用対象者を抽出し周知を図ると共に、青少年団体に対して具体的な利用方法を提示するなど施設の利用促進を図っていきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(3)	こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実				⑪	
6章	こどもの貧困対策関連事業				1	教育の支援				⑧	
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
52	地域での青少年健全育成活動の推進		○	青少年相談員連絡協議会、青少年健全育成連絡会等の活動を通じて、地域に根ざした青少年の健全育成活動を推進していきます。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加者数	人	467	758	922	2,091	2,411	2,500	2,500	96%	A	B
令和6年度の実施状況										令和6年度評価	
青少年相談員について、令和6年度の延べ参加者は、令和5年度に比べ、浦安市中学校文化部フェスティバルの参加者が増加したことから、延べ参加者数が約200人増加しています。青少年健全育成連絡会について、令和6年度の延べ参加者は、令和5年度に比べ、子どもたこあげ大会の参加者が増加したことから、延べ参加者数が約100人増加しました。										B	
事業に対する課題認識											
子どもたこあげ大会などの屋外イベントについては、天候により中止となる可能性があり、毎年必ず開催できないこと、屋内にて代替イベントが開催できないことが課題です。											
令和7年度の取り組み											
青少年相談員連絡協議会や青少年健全育成連絡会等と連携し、地域に根ざした青少年の健全育成活動を推進していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				3-(3) こどもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実	⑫					
53	(仮称) 子ども・子育て支援複合施設整備事業				(仮称) 子ども・子育て支援複合施設整備の機能を見直し、子どもの自主的な読書活動や交流を促進する場としての子どものための図書館を核とした、親子の居場所や相談ができる複合的な機能を有した施設の整備に取り組みます。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
整備の進捗状況		-	-	-	-	基本設計修正	実施設計	(R10年度整備)通常開館	-	-	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
令和元年度の基本設計を修正し、事業名称を(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業としました。											B
事業に対する課題認識											
近年の人件費や物価の高騰による工事費の変動と工期の延長を懸念しています。											
令和7年度の取り組み											
令和6年度に修正した基本設計を基に、(仮称)子ども・子育て支援複合施設として実施設計を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	①					
54	障がい者福祉推進事業				支援を必要とする子どもが乳幼児期から成人期までのライフステージにおいて、一貫した支援を継続的に受けられるよう、サポートファイルの配布と周知をします。また、障がいのある人への理解を深めるために、バリアフリーハンドブックや手話言語等条例啓発冊子の配布、講演会の開催や地域への啓発活動を実施します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
サポートファイル・バリアフリーハンドブックの配布部数	部	2,351	1,903	1,877	1,764	1,830	2,000	2,000	92%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
サポートファイルの配布と活用を促進するために、就学説明会において説明を行いました。令和6年度の配布実績数としては目標を下回りましたが、令和6年度より、電子データでの配布を行っており、例年配布対象としていた小学校4年生以外の生徒についても閲覧の機会があったため、実際には配布数以上の効果があったものと考えられます。											B
事業に対する課題認識											
サポートファイルについては、大きくて持ち運びに不便であるため、電子化対応を推進していく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、支援を必要とする子どもが乳幼児期から成人期までのライフステージにおいて、一貫した支援を継続的に受けられるよう、サポートファイルの配布と活用を促進するための周知を行います。バリアフリーハンドブックについても、障がいの特性や障がいのある人への理解と関心を深めるため、配布先を増やせるよう検討します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	②					
6章	こどもの貧困対策関連事業				2 生活の安定に向けた支援	⑥					
55	子ども発達センターの運営				心身の発達に遅れや気かりのある子どもとその保護者を支援するため、発達段階に応じてグループや個別での専門的な相談・療育、保育所等訪問支援事業等を行います。また、園等の地域機関への助言、園内研修、講師派遣や情報交換等を行い、地域機関の障がい理解を深め、子どもが地域で生活しやすくなる基盤づくりを行います。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
児童発達支援利用延べ人数(子・親)	人	3,564	4,744	4,968	4,517	3,987	4,200	4,200	95%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
心身の発達に遅れや気かりのある子どもとその保護者を支援するため、直接的支援として小集団によるグループ支援(児童発達支援事業)や個別での相談・支援、所属園への保育所等訪問支援事業等を行いました。保護者に対して、お子さんへの関わり方について、就学について、福祉サービスについてなどテーマを決めてお話をを行いました。また、子どもが地域で生活しやすくなるように、所属園や他の児童発達支援事業などへの助言や研修、児童発達支援事業者連絡協議会を開催しました。											B
事業に対する課題認識											
子ども発達センターは、児童発達支援センターとして指定を受けています。児童発達支援センターは、地域の中核的役割を担うために、高度な専門性に基づく支援機能、通所支援事業所に対する助言・援助機能、地域のインクルージョン推進の中核的機能、地域の発達相談の入口としての相談機能が求められています。専門人材を配置して、自治体や地域の障害児支援事業所、保育所等を含む関係機関等との連携体制を確保しながら、児童とその家族に対する専門的な支援及び包括的な支援の提供に取り組む必要があります。											
令和7年度の取り組み											
児童発達支援事業は、保育園を利用しているお子さんに対して、園の協力を得ながら、バス送迎も継続して行います。単独通園に通う保護者に対して、見学の際に担任や児童発達支援管理責任者が同席し、子どもの特性や特性を踏まえた子どもへの関わり方等に関して相談援助等を行います。外来支援事業は、子どもと保護者に対し、グループでの支援や個別での相談・支援を行います。子どもに関わる従事者の専門性の向上を目的に市内の園や児童発達支援事業所の職員を対象に研修を行います。地域のインクルージョンの推進として、保育所等訪問支援事業を実施(小学生まで対象を拡充)、地域機関への助言を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	③					
56	保育園、幼稚園、認定こども園、児童育成クラブの利用支援				保育園、幼稚園、認定こども園、児童育成クラブの利用支援において、一人ひとりの子どもの発達過程や障がいの状態に応じた支援の充実を図ります。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
園児数	人	125	149	160	113	147	218	220	67%	C	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
市立幼稚園・認定こども園 37名 加配職員数 28名 保育園 110名 加配職員数 84名											B
事業に対する課題認識											
支援を要する当該児に関する他機関との連携や情報援助方法の共有、発達支援保育における職員のスキルの上昇が課題として挙げられます。											
令和7年度の取り組み											
発達支援保育審議会の開催や、加配該当児の巡回をします。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	④					
6章	子どもの貧困対策関連事業				1 教育の支援	⑤					
通し番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
57	まなびサポート推進事業			特別な教育的支援が必要な幼児、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援が行われるよう、医師を含むまなびサポートチームの職員による訪問や相談活動を行い、就学相談と学校支援を充実させます。また、関係機関と連携を図りながら園・学校における支援内容の引き継ぎを円滑に行うとともに、個別的教育支援計画、指導計画の作成及び活用の充実を図り、継続した支援を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
個別的教育支援計画と個別の指導計画が必要な児童生徒への作成率	%	-	89.5	93.4	93	92	92	93	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
就学相談155家庭、学校支援363人。 就学相談では、年長児及び小学6年生の園児・児童の教育的ニーズを把握するため、子ども発達センターや小学校等と連携を図るとともに、医師やスーパーバイザーへの相談を119件行いました。学校支援では、個々の実態に応じて個別的教育支援計画、個別の指導計画の活用推進を図りました。											B
事業に対する課題認識											
教育的支援を必要とする児童生徒数の増加に伴い、ニーズが多様化・複雑化しています。園から小学校、小学校から中学校への学校間での引継ぎがより円滑に行われるよう、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成について、指導や助言を継続していきます。											
令和7年度の取り組み											
特別な教育的支援を必要とする児童生徒への切れ目ない支援の充実を図るため、教育と福祉が連携した相談体制を整えるとともに、個別的教育支援計画、個別の指導計画の効果的な活用を通じた相談活動を行っていきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑤					
通し番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
58	特別支援教育の推進			「共生社会」の形成に向け、インクルーシブ教育システム構築の理念のもと特別支援学級、通級指導教室、通常の学級などにおいて連続する多様な学びの場としての環境整備を行い、特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育や指導の実現を図ります。また、特別支援学級の教科学習の充実、関係機関と連携した園・校内体制づくり、担任と学年・教科支援教員、特別支援教育支援員の連携などにより、特別支援教育についての理解を深め、指導力向上に向けた教員研修の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
特別支援教育に関する研修7事業を実施	%	100	100	100	100	100	100	100	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
全校で取り組む特別支援教育の実現、教職員の専門性や指導力向上に向けて、研修を7事業で16回実施しました。特別支援教育支援員研修会では、研修内容のより一層の充実を図るため、参集から巡回へ研修形態を見直しました。											B
事業に対する課題認識											
特別な教育的支援を求めている児童生徒は通常の学級にも多く在籍しています。特別支援学級担任や通級指導教室担当者の指導力向上を目的とした研修会に加え、全ての教職員が特別支援教育の知識・理解を深められるような研修会が必要です。											
令和7年度の取り組み											
児童生徒の実態や教職員のニーズに合わせた研修内容の充実に向けて、通常の学級担任や会計年度任用職員を含めた教職員への研修の充実を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑥					
通し番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
59	特別支援学級等整備事業			特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひとりの適切な合理的配慮の提供ができるようインクルーシブ教育システム構築の理念のもと一人ひとりの教育的ニーズに応じた設備・教材・教具の充実に向けた基礎的環境整備を行います。特別支援学級や通級指導教室、また学習支援室の効果的な活用を促進し、多様な学びの場の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
学習支援室の有効活用自校評価率	%	—	81	88	96	92	95	100	97%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
多様な学びの場の充実に向けて、児童生徒・保護者の実態とニーズを把握し、令和6年度美浜北小学校の特別支援学級開設に向けて準備を進めました。また、通級指導教室での指導を必要とする児童生徒の増加に伴い、LD・ADHD等通級指導教室については、令和6年度に「通級まいはま」、ことばときこえの教室については、浦安小学校から富岡小学校へ移転し、浦安小学校を巡回校としました。学習支援室では、小学校250人、中学校140人の個別指導を行い、児童・生徒の学習意欲の向上に繋がりました。											B
事業に対する課題認識											
特別支援学級の増減や通級指導教室の拡充は、各小中学校の教室数や教職員数と連動してくるため、できるだけ早い段階から、見通しを持った整備が必要であると考えます。そのため、教育政策課、教育施設課、学務課との連携を密に行う必要があります。また、特別支援学級在籍者や、通級指導教室、学習支援室を利用する児童生徒が増加しているため、より個に応じた指導・支援の充実が図られるような内容の研修等を行っていく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
特別支援学級は、各校の実態を鑑みながら、障がい種の違いに応じた学級の整備について検討していきます。また、通級指導教室では利用を必要とする児童生徒のニーズに対応できるよう、拠点校及び巡回校の整備を検討していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑦					
通し番号	事業名	教育政策課・指導課・教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
60	県立特別支援学校との連携			児童生徒の豊かな人間性を育み、互いに尊重し合う態度を養うため、令和9年度に開校する県立特別支援学校と、併設する既存の小・中学校との教育活動の連携を推進するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場の充実を図るため、本市に設置される県立特別支援学校のセンター的機能を活用し、個に応じた適切で多様な学び、連続した切れ目のない支援の充実及び学校と地域の連携を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
市内小中学校との連携事業の実施		—	—	—	—	—	—	—	—	—	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
令和9年度の県立特別支援学校開校に向け、明海中学校校舎改修工事を実施したほか、明海南小学校の機能を明海中学校に移転するための引越運搬業務・明海南小学校校歌板移設工事を実施しました。また、県と協議し、土地・建物の貸付方法や明海中改修に係る県負担金の割合等を定めた覚書を締結しました。											A
事業に対する課題認識											
併設校である明海南小学校・明海中学校との具体的な連携案について検討する必要があります。また、県立特別支援学校のセンター的機能を活用した、市内小中学校との具体的な連携案についても、同様に検討する必要があります。											
令和7年度の取り組み											
令和9年度の開校に向け、県主催の開設準備委員会において、特別支援学校との連携の在り方などについて、県と協議を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応					⑧	
61	青少年発達サポート事業	障がい事業課	貧困対策	事業内容の概要と目的 青少年発達サポートセンターにおいて、発達障がいまたはその疑いのある青少年が日常生活または社会生活を円滑に営むことができるように相談及び支援を行うとともに、当該青少年への支援の質の向上を促進します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
登録者数	人	776	875	965	1,092	1,238	1,400	1,600	88%	B	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
まちづくり活動プラザ内で小学生から概ね25歳までの発達障がいのある方や発達が気になる方、そのご家族、学校職員などからの相談に応じ、専門性の高い療育支援などを行いました。											B	
事業に対する課題認識												
事業利用者数は増加の傾向を示していますが、集団療育の利用者は昨年度と比較して減少を示しているため、減少の原因究明とその対策を行う必要があります。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、小学生から概ね25歳までの発達障がいのある人と発達障がいの疑いがある人に、専門性の高い相談や療育支援を行います。また、発達が気になる児童・生徒の通学する学校を支援し、連携を図ります。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応					⑨	
62	浦安市学校等における巡回訪問看護事業	教育センター・保育幼稚園課・青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的 市立小・中学校、保育園、幼稚園、認定子ども園及び児童育成クラブにおける巡回訪問看護事業として、巡回訪問看護を必要とする子どもの支援をします。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
巡回訪問看護事業実施児童生徒への看護師派遣実績	%	100	100	100	100	100	100	100	100%	A	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
対象の園児2名、生徒1名が安心して園、学校において生活できるよう、看護師が巡回訪問して、医療的ケアを実施しました。また、本事業を安全かつ適正に実施するため、検討委員会を設置し、事業実施の可否検討や、実施事業者からの報告等による対象の園児、生徒の実施状況の把握を行いました。令和7年度に向けては、関係機関と連携しながら就学先や入学に向けて必要な準備等や、児童育成クラブの環境整備をします。											B	
事業に対する課題認識												
支援が必要な子どもたちの増加や求められるニーズが多様となっていることなどから、福祉・教育・医療などの関係する機関が一層の連携を強化することの必要性を感じています。学校では、活動や学習へのより良い参加の仕方について、また、園では、他の園児との交流や注意事項などを、関係機関と情報を共有しながら検討をしていく必要があります。児童育成クラブを運営している児童室には余裕となるスペースがないことから、医療的ケアを実施するスペースの確保が難しくなっています。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、園、学校や児童育成クラブ、保護者、関係各課や他機関との連携を図りながら、訪問看護を必要とする園児、児童、生徒が安心して学校等で生活できるような体制を整えていきます。就学相談では、それぞれの学びの場について、教育課程や環境・設備の違い等について丁寧に説明し、関係機関と連携しながら就学先について慎重に検討していきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応					⑩	
6章	こどもの貧困対策関連事業					1 教育の支援					⑨	
63	日本語指導員の派遣	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的 外国籍や帰国子女など、日本語指導を必要とする子どもたちの受け入れ体制や日本語指導員によるサポート体制の充実を図ります。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
日本語指導を希望する児童生徒への派遣実績	%	100	100	100	100	100	100	100	100%	A	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
日本語指導を希望するすべての児童生徒に日本語指導員を派遣し、学校生活や学習面で困ることのないよう、支援を行いました。											A	
事業に対する課題認識												
日本語指導を希望する児童生徒は年々増加しています。日本語指導員の増員だけでなく、派遣基準などを設け、日本語指導が必要な児童生徒に適切に派遣し、効果的な指導を受けられるようにする必要があります。												
令和7年度の取り組み												
日本語指導を希望する児童生徒全てに日本語指導員を派遣します。学校で過ごす上で必要な日本語を習得させ、クラスの一員として自信を持って活動できることを目指していきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応					⑪	
64	外国につながる幼児への支援	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的 保育園、幼稚園、認定子ども園等において、日本語によるコミュニケーションを図りにくい乳幼児を受け入れた場合には、一人ひとりの実態を把握し、指導内容の工夫を行うとともに、全教職員で共通理解を深め、園児や保護者とかかわる体制を整えます。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
対応可能な公立園数	園	21	21	21	21	21	20	20	105%	A	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
絵や写真等を用いて伝える等の指導の工夫をし、全職員で援助の共通理解を図り、安心して園生活を送ることができるような環境の整備を行いました。											B	
事業に対する課題認識												
両親共に日本語でのコミュニケーションが図れない保護者への支援継続が課題として認識しています。												
令和7年度の取り組み												
一人一人の実態を的確に把握し、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行います。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑫					
6章	子どもの貧困対策関連事業				1 教育の支援	①					
通し番号	事業名	社会福祉課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
65	生活困窮世帯等への学習・生活支援事業		○	ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助利用世帯の子どもおよび保護者を対象に、学習支援、生活習慣・育成環境の改善、進路選択等に関する支援などを実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
利用実人数	人	59	47	36	80	74	85	90	87%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助利用世帯の小学校4年生から高校3年生の子どもおよび保護者を対象に、週2回子どもの学習・生活支援事業を実施しました。											B
事業に対する課題認識											
全体出席率55%となっており、利用率の向上が課題です。											
令和7年度の取り組み											
ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助利用世帯の小学校4年生から高校3年生の子どもおよび保護者を対象に、週2回子どもの学習・生活支援事業を実施します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑬					
6章	子どもの貧困対策関連事業				1 教育の支援	⑩					
通し番号	事業名	生涯学習課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
66	青少年自立支援未来塾			地域の協力を得て、市立中学校の生徒に対し、放課後の学習環境を提供し、学習習慣の確立や基礎的、基本的な学力の定着など、確かな学力の向上を図る学習支援を行うものです。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
生徒の参加率	(%)	81.4	67	59.1	63.2	61.9	65	67	95%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
市内6公民館を会場として、英語と数学の2教科を隔週で、計17回ずつ実施しました。原則として、生徒が学校で配付された教科書・テキスト等を準備し、分からないところを学習支援員に質問していく個別の学習支援を行いました。											B
事業に対する課題認識											
学習習慣の確立に関して、学習内容に対する支援に加えて、学習の仕方やコツなど自主的に学習に取り組むための過ごし方等に対する支援も行う必要があります。英語と数学、両科目において、自分の分からないところをすぐに質問できる未来塾の特性を生かし、生徒自身が自分の課題がどこにあるかを支援員との関わりの中で気づき、前向きに学習に取り組む活動となるよう、一つ一つ改善を図る必要があります。											
令和7年度の取り組み											
令和6年度同様、英語・数学を各17回ずつ、合計34回実施します。また、生徒の参加率の向上のために、支援員に対して、未来塾の目的や支援の方法に関するマニュアル等を作成し、支援員会議等を通じて支援の仕方等の理解の徹底を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑭					
通し番号	事業名	指導課・子ども家庭支援センター・社会福祉課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
67	ヤングケアラー支援事業			家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーが、自分らしく健康で文化的な生活をできるよう、教職員やスクールライフカウンセラー等による日常的な観察や、生活アンケート等による定期的な把握を行うことで、ヤングケアラーの早期発見に努めます。必要に応じて関係機関に情報を提供し、児童生徒への支援体制や関係者が相談しやすい相談体制の強化を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
アンケート実施学校数 ケアラー支援条例の制定	か所 条例	-	-	-	-	26 -	26 1	26 1	100% -	A -	B -
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
市立各小中学校において、生活アンケート調査を実施しました。ヤングケアラーコーディネーターの設置検討及び家事・育児支援を行うヘルパー派遣を検討し、令和7年度に実施することとしました。庁内のヤングケアラー支援体制づくりについて検討しました。											B
事業に対する課題認識											
ヤングケアラーの可能性のある児童・生徒をより発見しやすくするためのアンケート調査方法、また、把握した対象児童・生徒についての共有や、把握後の支援方法について、さらに検討していく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、市立各小中学校における生活アンケート調査、ヤングケアラーコーディネーターの配置、家事・育児支援を行うヘルパー派遣を実施します。また、市立小中学校以外の対象者（高校・大学・市内・市外）への周知啓発方法について検討します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(1) 特別な支援が必要な子どもへの対応	⑮					
通し番号	事業名	障がい事業課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
68	医療的ケア児等の支援体制の構築			医療的ケア児とその保護者が地域で安心して生活を送れるよう、専門のコーディネーターを配置することで保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関同士の連携を図り、情報共有を促進・強化します。また、職員の研修や看護師の確保、受け入れ場所の確保等を通じ、基幹圏や各施設での受け入れ体制を整えておくことで、転入等の突然のニーズにも対応できる体制の整備を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
コーディネーターの配置人数	人	0	0	0	0	0	1	2	0%	D	D
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
障がい事業課独自で、医ケア児支給決定している児童を集計しました。											D
事業に対する課題認識											
独自の集計方法でしか人数や実態を把握しておらず、公的に実態調査をする必要があり、また医ケアの受け入れ場所の確保がまだ整備されておらず、地域で安心して生活を送れるよう体制を強化する必要があります。											
令和7年度の取り組み											
子ども発達センターでコーディネーターの配置を計画しており、令和7年度に医ケア児者実態調査を実施し、支援体制を整備するための生活実態やニーズを把握します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(2) 児童虐待防止対策					①	
69	DV被害者に対する啓発	多様な社会推進課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
		DVに関する正しい理解の浸透と被害者支援につなげるために、DV防止に向けた啓発や相談先などが記載されている「DV相談支援カード」を作成し、各施設や相談者に配布するなど、普及啓発を行います。										
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
デートDV相談支援カード配布枚数	枚	4,410	3,150	3,250	3,690	4,030	4,000	4,000	101%	A	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
DVに関する相談先を記した名刺大のカードを公共施設や商業施設に配架し、相談窓口の周知を図りました。「デートDV相談支援カード」については、市内大学4校に設置し、若者への相談先の周知を図ることができました。「DV相談支援カード」については、書式の一部を改訂したことで、配布数が増えております。また、「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、パネル展を開催し、DVについての正しい理解の浸透を図りました。											A	
事業に対する課題認識												
DV被害者の多くは、夫・パートナーからの暴力により社会的に孤立しがちであり、DV被害に気づいていない場合もあります。また、DV被害者の方は支援に必要な情報も入手しにくいのが現状です。相談先を広く周知するとともに、利用しやすい環境をつくるのが課題です。												
令和7年度の取り組み												
引き続き、DV被害者の支援につなげるため、相談先を明記したカードを作成し、配布します。また、暴力を許さない環境づくりのため、「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせ、ホームページや広報紙、電光掲示板での啓発やパネル展を行います。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(2) 児童虐待防止対策					②	
70	児童虐待を早期発見するための啓発活動	子ども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
		児童虐待を受けた可能性がある子どもを発見した場合などの相談受付となる子ども虐待ホットラインの周知を図るとともに、関係機関向けに児童虐待に関する研修会などを行い、児童虐待の防止や早期発見に努めます。また、子ども自身の児童虐待への気づきを促すため、小学校や中学校に虐待防止に関するチラシを配布します。										
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
研修会及び啓発回数	回	7	7	12	11	10	10	10	100%	A	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
学校教職員や子育て支援者を対象とした研修を実施しました。(年10回)リーフレットを配布しました。(公立小中学校・幼稚園・認定こども認定園・保育園)啓発用ウェットティッシュの配布をしました。(街頭配布：舞浜駅・新浦安駅・浦安駅、配布：児童育成クラブ)浦安市アートプロジェクト事業において、浦安藝大と連携した啓発活動を行いました。											B	
事業に対する課題認識												
継続的な啓発活動を行っていく必要があります。												
令和7年度の取り組み												
引き続き市民や関係機関へ児童虐待に関する情報を周知し、児童虐待の防止や早期発見に努めます。また、子ども自身が自分の人権を守ることができるよう関係機関で環境を整えていきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(2) 児童虐待防止対策					③	
6章	こどもの貧困対策関連事業					2 生活の安定に向けた支援					⑨	
71	家庭児童相談	子ども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
		地域で安心して子育てができる環境づくりや児童虐待防止の強化を図るため、家庭相談員が子どもと家庭に関する様々な相談に総合的に対応します。										
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
相談件数	件	728	721	928	937	1,094	1,000	1,000	109%	A	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
虐待件数は612件、その他の相談(性格・習慣相談、知能・言語相談、非行相談、育児・しつけ相談等を含む)は482件でした。											B	
事業に対する課題認識												
複合的な課題を抱えるケースが増加しており、関係機関との連携強化が求められるため、相談件数に見合った対応体制の整備や、地域連携の強化を図っていく必要があります。												
令和7年度の取り組み												
就学児・未就学児それぞれに、元教員や保育士など専門性を持った相談員が、幅広くきめ細やかな支援をしていきます。また、児童虐待の防止や早期発見につなげるため、子ども家庭支援センターがあらゆる相談を包括する総合窓口として機能するよう、相談支援体制を整備していきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					4-(2) 児童虐待防止対策					④	
6章	こどもの貧困対策関連事業					2 生活の安定に向けた支援					⑩	
72	要保護児童対策地域協議会	子ども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
		要保護児童対策の充実のため、関係する機関の代表者会議、実務者会議を通じて円滑な情報交換を行い、個別の支援ケースに関してより細やかな支援を行います。										
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
要保護児童対策協議会開催数	回	14	14	14	13	13	13	13	100%	A	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
代表者会議1回、実務者会議12回を開催しました。											B	
事業に対する課題認識												
実務者会議は、虐待事案への対応報告が主流の会議となりますが、他市の取組状況なども参考にしながら、構成機関や多様な社会資源との情報交換や問題意識の共有をさらに進めていくことが重要となります。												
令和7年度の取り組み												
実務者会議の開催方法については、より効果的に情報共有が図れるよう、具体的な開催方法を検討し続けていきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(3) 子育て家庭への経済的支援	①					
6章	こどもの貧困対策関連事業				4 経済的支援	①					
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
73	児童手当		○	家庭の生活の安定と児童の健やかな成長を促進するため、高校生相当年齢までの児童を養育する家庭に手当を支給します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
延べ児童数	人	263,504	252,923	215,611	191,902	215,698	307,260	276,780	70%	C	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
中学校修了前までの児童を養育する方に対して、児童1人につき月額10,000円～15,000円の児童手当を支給し、所得制限限度額以上所得上限限度額未満の方に対しては児童1人につき月額5,000円の特例給付を支給しました。なお、令和6年10月分から制度改正により、所得制限額の撤廃、第3子以降一律30,000円とする引き上げや高校生相当年齢への支給対象拡大をしました。											A
事業に対する課題認識											
対象となる方からの申請に基づく支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、児童手当を支給していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(3) 子育て家庭への経済的支援	②					
6章	こどもの貧困対策関連事業				4 経済的支援	②					
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
74	子ども医療費助成		○	高校生相当年齢までのこどもが病気やケガで医療機関を受診した場合に、保険診療の範囲内で医療費の自己負担額を助成します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
助成述べ件数	件	256,707	282,927	283,839	330,095	359,595	359,888	392,062	100%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
高校3年生相当年齢までの子どもの入通院医療費に対して、本人負担分（保険診療対象分から高額療養費等を除く）を助成しました。											A
事業に対する課題認識											
対象となる方からの申請に基づく支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子ども医療費助成事業を実施します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(3) 子育て家庭への経済的支援	③					
6章	こどもの貧困対策関連事業				4 経済的支援	③					
通し番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
75	多子世帯の保育料等の軽減支援事業		○	第1子から第3子までの出産期間が、6年を超えるケースが多くなっているため、市の単独補助として、従来の補助対象年齢を引き上げ、多子世帯の保育料等の軽減支援を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
軽減人数(0～2歳クラス)	人	361	360	391	408	389	397	430	98%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
認可保育施設に通園している児童が第2子以降に該当する場合に、第1子の年齢に関わらず、保育料を第2子は2分の1を減額、第3子以降は減免としています。											B
事業に対する課題認識											
他市の保育料負担軽減の動向を確認し、検討する必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き保育料の第2子以降の減額または免除を実施します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				4-(3) 子育て家庭への経済的支援	④					
6章	こどもの貧困対策関連事業				4 経済的支援	④					
通し番号	事業名	教育総務課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
76	奨学支援金支給制度		○	高等学校等や大学等に入学または在学する者で、学業成績が優秀で学習意欲があり、経済的な理由により修学することが困難な学生に対し、奨学支援金の給付をすることで、教育機会均等を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
奨学金申請者に対し、支給決定した人数の割合	%	90.5	85.3	87.4	88.7	88.7	90	90	99%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
令和6年度は、205名に奨学支援金を適正に支給し、修学に対する経済的支援を行うことができました。また、国の制度拡充等の状況を確認し、実績データを基に現状の課題について、検討を行いました。											B
事業に対する課題認識											
対象者の成績要件に関する現状を整理、分析し、具体的な課題を明らかにすることができましたが、引き続き検討が必要です。											
令和7年度の取り組み											
学業成績が優秀で学習意欲があり、経済的な理由により修学することが困難な学生に対し、引き続き支援を行います。また、国の制度拡充等の状況を確認した上で、実績データを基に現状の課題について、検討を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業		4-(3) 子育て家庭への経済的支援		⑤						
6章	こどもの貧困対策関連事業		4 経済的支援		⑤						
通し番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
77	学校給食費の無償化		○	第3子以降学校給食費減免、小学校6年生及び中学校3年生の免除に加え、さらに対象を拡大します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
全児童生徒学校給食費免除	人	—	—	—	8,467	11,786	11,447	—	103%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
保護者の経済的負担の軽減を図るため、すべての市立小・中学校の学校給食費を無償化しました。											B
事業に対する課題認識											
各家庭の経済的負担軽減のため、継続する必要がある事業と認識しています。											
令和7年度の取り組み											
無償化を継続します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業		4-(3) 子育て家庭への経済的支援		⑥						
6章	こどもの貧困対策関連事業		4 経済的支援		⑥						
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
78	児童扶養手当		○	父母の離婚などで、父または母と生計を同じくしていない児童を養育する家庭に対し、生活の安定と自立の促進のため、手当を支給します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
述べ支給者数	人	8,845	8,445	8,453	8,219	7,815	8,355	8,144	94%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
父母の離婚等により、父または母と生計を同じくしていない児童を養育している父または母等に対して支給しました。											A
事業に対する課題認識											
対象となる方からの申請に基づく支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、ひとり親家庭等への経済的負担を軽減するため、児童扶養手当を支給します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業		4-(3) 子育て家庭への経済的支援		⑦						
6章	こどもの貧困対策関連事業		3 就労の支援		③						
通し番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
79	ひとり親家庭就労支援		○	ひとり親家庭の自立促進のため、就労支援講座を開催するとともに、ハローワークなどの関係機関と連携を取りながら、個別に自立支援プログラムを策定します。また、ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するため、教育訓練講座や高等技能訓練の受講者に給付金を支給します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
支給件数	件	6	11	9	9	20	19	20	105%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
ハローワークや教育機関等との連携を取りつつ、自立支援プログラムを個別に作成し、講座受講のため自立支援教育訓練給付金5件、高等職業訓練促進給付金11件、高等職業訓練終了支援給付金4件を給付し、自立に向け資格取得を目指しました。											B
事業に対する課題認識											
教育訓練等支援制度が複雑であり、制度説明と利用ができるか該当項目を時間をかけて確認していくと同時に、適切な制度利用と資格取得に向けて継続的に支援する必要から関係機関との連携を行っていく必要があります。											
令和7年度の取り組み											
ハローワークや教育機関等との連携のなか、継続的に講座受講していけるよう個別面接等実施しつつ、就労へとつながるよう継続的な支援を行っていきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業		4-(3) 子育て家庭への経済的支援		⑧						
6章	こどもの貧困対策関連事業		4 経済的支援		⑦						
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
80	ひとり親家庭等医療費等助成		○	高校生相当年齢までのこどもと養育する父母等が病気やケガで医療機関を受診した場合に、保険診療の範囲内で医療費の自己負担額を助成します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
助成述べ件数	件	6,296	13,187	20,406	19,832	24,118	25,360	31,576	95%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
ひとり親家庭等の父母または養育者及び児童の入通院医療費に対して、当該費用の全部または一部を助成しました。											A
事業に対する課題認識											
対象となる方からの申請に基づく助成となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、ひとり親家庭等への経済的負担を軽減するため、ひとり親家庭等医療費等助成を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			4-(3) 子育て家庭への経済的支援	⑨						
6章	こどもの貧困対策関連事業			4 経済的支援	⑧						
通し番号	事業名	子ども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
81	ひとり親家庭住宅手当		○	20歳未満の子どもを養育しているひとり親家庭等（配偶者が重度障がいをもつ家庭を含む。）で賃貸住宅に住んでいる家庭に手当を支給します。							
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に 対する達成率	目標指標の達成率 による評価	2期計画の進捗度 による評価
延べ支給件数	件	5,584	5,111	4,947	4,804	4,732	4,644	4,527	102%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
ひとり親家庭の世帯主で、月額10,000円を超える家賃を支払っている場合に、その超えた額に対して月額15,000円を限度として、市条例により手当を支給しました。											A
事業に対する課題認識											
対象となる方からの申請に基づく支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、ひとり親家庭等への経済的負担を軽減するため、ひとり親家庭住宅手当を支給します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			4-(3) 子育て家庭への経済的支援	⑩						
6章	こどもの貧困対策関連事業			4 経済的支援	⑨						
通し番号	事業名	障がい福祉課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
82	難病者見舞金事業		○	生活の安定と経済的な負担を軽減するため、小児慢性特定疾病を含む難病者を対象に、難病者見舞金を支給します。							
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に 対する達成率	目標指標の達成率 による評価	2期計画の進捗度 による評価
支給実績人数	人	726	769	797	858	986	1,000	1,100	99%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
難病者の生活の安定と福祉の増進を図ることができました。支給実績人数は、令和5年度より128人の増加となりました。											B
事業に対する課題認識											
見舞金の申請要件である、指定難病受給者証等の発行元が千葉県市川保健所となっているため、更新状況が分かりづらいことが課題です。											
令和7年度の取り組み											
令和7年度より制度が変更となり、入院通院にかかわらず指定難病受給者証等を持っている方へ見舞金を支給することとなりました。難病者の生活の安定と福祉の増進を図るため、難病者見舞金周知を行います。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり	①						
通し番号	事業名	市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
83	地域防犯ネットワーク事業			地域における子どもの安全を確保するため、登下校時間帯を中心に小・中学校の通学路などの市内巡回パトロールを行うとともに、自治会やPTAをはじめとする地域の自主防犯活動団体や学生防犯委員会V5、防犯ボランティアなどが行う防犯活動を支援します。また、防犯協会や警察署と連携しながら、防犯キャンペーンや防犯講演会を実施し、市民の防犯意識の高揚を図ります。さらに、事業者の協力のもと、防犯かけこみ110番の店や事業者パトロール隊による見守りを強化するなど、地域防犯ネットワークを充実します。							
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に 対する達成率	目標指標の達成率 による評価	2期計画の進捗度 による評価
防犯パトロール車貸出し実績	回	328	290	348	369	248	250	300	99%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
令和6年度は、16の団体に合計248回の防犯パトロール車の貸出しを行いました。また、市内の小中学校の学期始め（4月、9月、1月）の5日間（土日祝日を除く）、登校時間に市職員にて市内巡回パトロールを実施しました。また、夏と冬の2回新浦安駅前広場にて防犯キャンペーンを行い3月に防犯講演会を実施しました。											B
事業に対する課題認識											
防犯パトロール車貸出しや防犯講演会等の事業を知らない人が多く存在することです。											
令和7年度の取り組み											
市の事業について、より多くの人に知らってもらうため市公式ホームページ等で周知を行い、引き続き防犯事業を行ってまいります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり	②						
通し番号	事業名	保健体育安全課・市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
84	学校等防犯対策			警察と連携しながら実践的・効果的な防犯訓練や防犯教室を実施し、教職員の危機管理意識の向上と子どもの防犯教育の充実を図ります。また、市立全小学校への昼間帯における警備員配置など防犯体制を強化するとともに、学校の防犯設備などを充実します。							
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に 対する達成率	目標指標の達成率 による評価	2期計画の進捗度 による評価
防犯教室・不審者対応訓練実施回数 警備員設置校	回 校	5 17	61 17	66 17	105 17	102 17	105 17	105 17	97% 100%	A A	B A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
安全指導員（警察官OB）と警察で連携し、市内の小中学校、幼稚園、保育園にて防犯教室や不審者対応訓練を行いました。市立全小学校に警備員各1名を配置し、また市立全小中学校に防犯カメラを設置しました。新1年生および転入生に防犯ブザーを無償配布しました。											B
事業に対する課題認識											
多様化する犯罪に対応できるよう、訓練内容の課題把握を行ってまいります。防犯カメラの位置については、学校や警察と相談しながら死角などを確認し、必要があれば移設・増設を検討していきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続き防犯教室や不審者対応訓練を実施し、防犯教育の充実を図ります。児童の安全を確保するため、市立全小学校に警備員の配置及び防犯カメラの設置を今後も継続します。											

5章		次世代育成支援対策推進事業				5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり				③		
通し番号	事業名	保健体育安全課・市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
85	交通事故防止対策			市立小・中学校や、幼稚園・保育園・認定こども園において、警察と連携しながら交通安全教室や自転車交通安全教室を定期的かつ継続的に開催し、交通安全教育の充実を図るとともに、親子を対象にした自転車交通安全教室も実施します。また、通学路の安全点検を行い、特に配慮を要する交差点に交通整理員を配置するなど、交通事故防止対策を推進します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
交通安全教室及び自転車安全教室実施回数 交通整理員配置箇所	回 箇所	50 9	54 9	67 9	88 9	82 9	84 9	90 9	98% 100%	A A	B A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
安全指導員（警察官OB）と警察で連携し、市内の小中学校、幼稚園、保育園にて交通安全教室や自転車安全教室を行いました。特に配慮を要する交差点9か所に交通整理員を計14名配置しました。											B	
事業に対する課題認識												
子ども達が理解しやすいよう、実施内容を検討してまいります。通学路における交通事故発生箇所に注視し、新たに配置が必要か、あるいは他の手段が有効かといった検討は続ける必要があります。												
令和7年度の取り組み												
引き続き交通安全教室や自転車交通安全教室を実施し、交通安全教育の充実を図ります。交通事故防止のため、交通整理員の配置を今後も継続します。												

5章		次世代育成支援対策推進事業				5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり				④		
通し番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
86	薬物乱用防止等対策			児童・生徒が薬物使用及び喫煙による健康被害を学び、正しい行動が判断できる能力を育成するため、市立小中学校において学校薬剤師や警察などの専門家と連携した薬物乱用防止教室を計画的に実施します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
実施校数	校	14	20	21	26	26	26	26	100%	A	A	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
市立小中学校全校において薬物乱用防止教室を実施しました。											A	
事業に対する課題認識												
保護者の薬物問題への関心が高くなく、家庭での薬物乱用防止教室の振り返りがされにくい状況です。児童・生徒への能力の育成のため、保護者への問題意識の向上が必要だと感じます。												
令和7年度の取り組み												
市立小中学校全校において薬物乱用防止教室を実施します。												

5章		次世代育成支援対策推進事業				5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり				⑤		
通し番号	事業名	消費生活センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
87	子ども向け消費生活学習の推進			市内小中学校の児童生徒及びこれから18歳成人になる市民に対し、チラシやパンフレットなどの啓発資料の配付、啓発情報の配信を行います。生活に必要な物資の購入や適切なサービスの選択ができ、ゲームの高額課金トラブルや詐欺などの被害にあわない賢い消費者の育成を目指します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
啓発対象者数	人	4,396	4,911	4,161	3,076	3,136	4,500	4,200	70%	C	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
市内中学校の3年生1,509人に対して、スマホトラブル防止の啓発リーフレットを配布しました。また、翌月18歳成人になる市民、合計1,627人に対し、成人になったら気をつけてほしいトラブル等を掲載したリーフレットを配布しました。											B	
事業に対する課題認識												
配付をした資料の認識度が人によって異なるため、啓発の効果に差が生じていることが課題と認識しています。												
令和7年度の取り組み												
引き続き市内小中学校にリーフレットを配布するとともに、18歳成人になる市民に対しては直接郵送する啓発資料を圧着葉書でスリム化し、より開封しやすい効果的な啓発に取り組みます。												

5章		次世代育成支援対策推進事業				5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり				⑥		
通し番号	事業名	青少年センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
88	青少年補導員活動・地域パトロールの実施			児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員が警察や関係機関と連携してパトロールによる街頭補導を行います。また、未成年に対して酒・たばこ・有害図書などを販売しないよう、販売業者に対して年齢確認の徹底や有害図書などの適正陳列に関する協力依頼などを行います。さらに、広く市民に理解と協力を呼びかけるため、広報誌の発行やキャンペーンなどを行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
パトロール回数	回	333	131	294	188	181	200	200	91%	B	B	
令和6年度の実施状況											令和6年度評価	
令和6年度の青少年補導員による街頭補導活動は、午前・午後・薄暮・夜間の4つの時間帯に市内全域を対象に行う中央パトロール、中学校区ごとに地域の実情に合わせて行う地区パトロールをはじめ、県下一斉合同パトロールや花火大会等の市の行事の際に行う特別パトロール、さらに不審者の出沒や青少年の関わる事件等があった場合に行う臨時パトロール、児童・生徒の下校時に行う職員パトロールを実施しました。また、不審者情報を受け緊急な対応が必要になった場合には、パトロールの経路を考慮し、既存の中学校区を超えて地区パトロールを実施しました。											B	
事業に対する課題認識												
青少年の非行防止や健全育成を目的として、市内小・中・高等学校の教員・PTAなどで構成される青少年補導員が中心となって、子ども達を見守る活動を計画的に実施していきます。また、地域ぐるみの活動も実施していきます。												
令和7年度の取り組み												
今後も、青少年センター職員とともに中央パトロールを児童・生徒の下校時間に合わせるなど計画的に実施していきます。												

5章	次世代育成支援対策推進事業					5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり	⑦				
通し番号	事業名	青少年センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
89	ネットパトロール事業			学校非公式サイト、ブログやSNSなどへの問題のある書き込み及び画像について、早期発見・早期対応により、問題行動の未然防止を図るとともに、いじめや犯罪被害等から児童・生徒を守ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
ネットパトロールの検出上位サイトの検出件数	件	172	279	268	277	309	300	300	103%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
子どもたちを犯罪被害から守ることを目的にネットパトロールを実施しています。SNSサイトや掲示板サイト、Youtube等を検索し、不適切な投稿や問題行動の早期発見に取り組み、必要に応じて学校に連絡しました。											A
事業に対する課題認識											
ネットパトロールの実施により、早期発見・早期対応することができ、被害の拡大前に、児童・生徒に指導を行うことができます。また、児童・生徒に不適切な書き込みを再認識させることができます。誹謗中傷や自殺企図、事件の防止につながります。											
令和7年度の取り組み											
ネットパトロール事業の中で行うネットパトロール研修については、対象を小・中学生指導担当向け及び青少年補導員向けを実施していますが、保護者向けの研修も検討します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業					5-(1) こどもの安全を見守る環境づくり	⑧				
通し番号	事業名	危機管理課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
90	子育て世帯に向けた平常時からの防災対策の広報、啓発			災害時に、子育て世帯が自分たちの身の安全を守るために取り組む「自助」活動として、家庭での備蓄や非常持出品、その他防災対策について、市ホームページ、広報誌等の情報媒体や各種イベント等を活用して、平常時からの防災に対する啓発、意識づけを行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
防災のてびきの配布	部数	7,210	5,298	2,100	6,475	6,561	6,627	7,000	99%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
子育て世帯へ平常時から「防災のてびき」を配布し防災に対する啓発を行いました。転入者用として市民課窓口での配布、自主防災組織への配布及び令和6年度は、防災アプリを導入し、紙媒体だけでなく電子媒体を通じて防災意識の高揚を図ったものです。また、市民まつりにおいて、備蓄用の乳児用液体ミルクを配布し、日頃の防災備蓄品に対する意識の促進に努めたものです。											B
事業に対する課題認識											
本事業は防災対策の広報という観点に重点が置かれています。市民がいつでもどこでも災害・防災情報が入手できる防災アプリのダウンロードの促進広報に努めるとともに、「防災のてびき」の配布数だけでなく、今後は防災アプリのダウンロード者数を指標に加えて実績評価する必要があると考えます。											
令和7年度の取り組み											
「防災のてびき」に子育て世代に役立つ情報を追記し改訂を図るとともに、防災アプリの内容の充実を目指します。また、防災アプリを活用した災害・防災情報の入手方法の周知に努め、防災啓発の強化を図ります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業					5-(2) 子育て家庭を応援するまちづくり	①				
通し番号	事業名	子ども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
91	地域子育て応援団事業			地域において子育てを支援する団体が、公民館・児童センター・自治会集会所等で行う子育てサロン活動等を支援します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
延べ利用者数	人	1,952	3,095	5,258	4,533	3,040	3,500	3,500	87%	B	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
子育て支援団体への事業補助を行うことで、サロン活動等を通じて子育て中の親子の交流を促進し、子育てに関する相談の提供や地域とのつながり等の援助を行うことができました。											B
事業に対する課題認識											
孤立しやすい傾向にある子育て世帯が交流できる場により多くの市民が参加できるように、周知を進める必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、子育てサロン事業による親子の交流の場を提供し、孤立化の予防や保護者同士のコミュニティ形成を推進します。											

5章	次世代育成支援対策推進事業					5-(2) 子育て家庭を応援するまちづくり	②				
通し番号	事業名	子ども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
92	あかちゃんほっとすてーしょん整備事業			乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境づくりを推進するため、授乳、おむつ替えができる設備「あかちゃんほっとすてーしょん」を新規の公共施設に設置します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
設置施設数	件	39	39	39	40	41	41	42	100%	A	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
あかちゃんほっとすてーしょんの設置施設6か所の更新を行い、登録された施設の所在地及び事業主等の名称等を市ホームページにより周知しました。											B
事業に対する課題認識											
子育て世帯が気軽に外出できる環境があることを多くの市民に知ってもらうため、今後もあかちゃんほっとすてーしょんの周知を進める必要があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き、あかちゃんほっとすてーしょんとして登録された施設について、所在地及び事業主等の名称等を市公式ホームページで周知するとともに、登録施設の増加に向けて事業者への働きかけを進めていきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				5-(2) 子育て家庭を応援するまちづくり	③					
6章	こどもの貧困対策関連事業				3 就労の支援	④					
通し番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
93	子育てを応援するイベント等の支援			子育てに関する情報収集や情報交換、地域を超えた交流が行える場の提供を目的とする子育てを応援するイベント等を支援します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
延べ来場者数	人	-	-	2,438	4,015	5,433	5,000	5,000	109%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
市民団体、行政などの立場が異なる子育てサポーターが一堂に会する「子育て応援メッセ」の開催を支援し、多くの子育て世帯の参加がありました。											A
事業に対する課題認識											
子育て世帯が気軽に楽しめる情報収集・交換の場となっていることから、より多くの市民が参加できるようさらに周知を進めていきます。											
令和7年度の取り組み											
引き続きイベントを支援し、子育てに関する情報の発信と子育てネットワークの形成を促進していきます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				5-(2) 子育て家庭を応援するまちづくり	④					
6章	こどもの貧困対策関連事業				3 就労の支援	①					
通し番号	事業名	みどり公園課・道路整備課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
94	外出環境の整備事業			身近な公園の充実、歩道のバリアフリー化や防護柵等の安全対策を通じて、子どもたちや子育て世帯が安心して気軽に外出できるように外出環境を整備します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
公園や緑道の整備事業数 該当工事件数	箇所 件	1 9	2 6	1 9	1 2	0 3	6 4	10 5	0% 75%	D B	B B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
緑道の整備を行いました。 舞浜駅南口歩道橋（タイル舗装）、新浦安駅前歩道橋（防滑材散布）、市道幹線9号歩道（アスファルト舗装、視覚障がい者誘導用ブロックの交換）において補修工事を行い、安全で安心な歩行環境を実現しました。											B
事業に対する課題認識											
公園や緑道の新たな整備は計画的に進めていますが、既存公園の施設の老朽化が顕著であり、改修・再整備が必要となっています。 歩道環境に対する整備方針がなく、現時点では、道路や橋りょうの施設更新や改良にあわせて、影響範囲に含まれる防護柵等や点字ブロックといった附属物を対象とした維持補修が都度行われている状況です。											
令和7年度の取り組み											
公園や緑道の整備・改修において、今後も引き続き子どもたちや子育て世帯が安心して気軽に外出できる環境づくりに資するよう、事業の推進を図ります。 公共道路の整備において、今後も引き続き子どもたちや子育て世帯が安心して気軽に外出できる環境づくりに資するよう、設計・施工につとめます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する地域づくり	①					
6章	こどもの貧困対策関連事業				3 就労の支援	④					
通し番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
95	企業への男女の平等な待遇等の意識啓発の推進		○	職場における男女格差や不平等な慣行を解消するため、市内企業に向けて国・県等が行っている制度・支援についてパンフレット・チラシの配布を通して、周知します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
パンフレット等の配布	部	1	1	1	1	500	500	500	100%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
国・県等が行っている制度・支援について、商工会議所等の団体へ情報提供を行うとともに、窓口でのパンフレット等の配布や市ホームページを通して周知を行いました。											A
事業に対する課題認識											
市内中小企業における取組状況の把握に課題があると認識しています。											
令和7年度の取り組み											
引き続き情報提供やパンフレット配布等により周知を行うとともに、商工会議所等と連携して市内中小企業の動向の把握に努めてまいります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業				5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する地域づくり	②					
6章	こどもの貧困対策関連事業				3 就労の支援	①					
通し番号	事業名	多様性社会推進課・商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
96	仕事と育児・介護の両立に関する意識啓発の推進		○	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に向けて、仕事と家庭生活の両立に関する講座の開催や育児・介護休業制度に関するパンフレット配布など情報提供や啓発を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
男女共同参画に関する講座・セミナーの参加人数 パンフレット等の配布	人 部	33 500	78 500	68 500	55 500	18 500	40 500	60 500	45% 100%	D A	C A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
仕事と育児の両立に関するセミナーを開催しました。 国・県等が行っている制度・支援について、商工会議所等の団体へ情報提供を行うとともに、窓口でのパンフレット等の配布や市ホームページを通して周知を行いました。											B
事業に対する課題認識											
講座・セミナーについて、参加者を増やすため、周知方法が課題と考えております。 市内中小企業における取組状況の把握に課題があると認識しています。											
令和7年度の取り組み											
仕事と家庭生活の両立に関する、家庭内の家事分担等についてのセミナーを実施する予定です。 引き続き情報提供やパンフレット配布等により周知を行うとともに、商工会議所等と連携して市内中小企業の動向の把握に努めてまいります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する地域づくり	③						
6章	こどもの貧困対策関連事業			3 就労の支援	⑤						
通し番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
97	女性等の職業能力開発と様々な働き方への支援		○	女性の職業能力を開発し、新しい働き方に対する選択肢を増やすため、女性の再就職支援講座、労働相談、再就職に関する情報提供や相談などを実施します。またパートタイム、派遣労働、SOHO、フリーランスなど様々な働き方に対する支援や労働に関する法制度の普及・啓発を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
労働・社会保険相談の実施	件	35	45	37	39	90	96	96	94%	B	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
女性向け再就職支援講座、労働相談、再就職に関する情報提供や相談などを実施しました。また、国・県等が行っている制度・支援について、商工会議所等の団体へ情報提供を行うとともに、窓口でのパンフレット等の配布や市ホームページを通して周知を行いました。											A
事業に対する課題認識											
市内中小企業における取組状況の把握に課題があると認識しています。											
令和7年度の取り組み											
引き続き講座の開催、相談事業の実施、情報提供やパンフレット配布等により周知を行うとともに、商工会議所等と連携して市内中小企業の動向の把握に努めてまいります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する地域づくり	④						
通し番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
98	優良企業表彰制度の実施			他の模範となる企業や商店を表彰する優良企業表彰制度を活用して、子育て支援策に取り組むなど、他の模範となる活動をしている企業の表彰を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
表彰事業者件数	事業者	-	-	-	3	2	3	3	67%	C	B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
市内に所在する中小企業者であって、経営の合理化、近代化、作業環境、販売・生産技術、新商品の開発、労務等において他の模範となっている、または市のイメージアップに貢献している企業や商店等を選定し、浦安市民まつりにて表彰しました。											C
事業に対する課題認識											
事業者の推薦を依頼する市内商工業関連団体である浦安商工会議所、浦安市商店会連合会、浦安鐵鋼団地協同組合から事業者からの辞退等により推薦できない場合があります。											
令和7年度の取り組み											
引き続き事業を継続します。また、事業者の推薦を依頼する市内商工業関連団体に対し、制度の趣旨を丁寧に伝え、対象事業者の推薦に関し、理解と協力を得るように努めていきたいと考えます。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する地域づくり	⑤						
6章	こどもの貧困対策関連事業			3 就労の支援	②						
通し番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
99	社会貢献に取り組む事業者への融資あっせん		○	市内の中小企業支援の一環として、ワーク・ライフ・バランス推進などの取組を行っている事業者の運営に要する資金をあっせんします。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
社会貢献推進資金活用件数	件	0	0	0	0	1	1	5	100%	A	A
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
浦安市中小企業資金融資制度（社会貢献推進資金〔WLB要件〕）活用件数 活用事業者数：1件											A
事業に対する課題認識											
融資制度におけるWLBの要件が平成30年度の運用開始当時の基準となっているため、見直しを検討します。 (例：育児休業又は介護休業の取得実績がある／有給休暇取得率が43.8%以上である／ノー残業デーがある など)											
令和7年度の取り組み											
ワーク・ライフ・バランスの要件を見直すとともに、引き続き本事業の周知に努めてまいります。											

5章	次世代育成支援対策推進事業			3-(2) 放課後児童の居場所づくり	②						
6章	こどもの貧困対策関連事業			1 教育の支援	③						
通し番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
●●	記載例		○								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績					目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
教室参加者数(初産婦)	人(実)	106	149	254	311	269	278	278	① 97%	② B	③ B
令和6年度の実施状況											令和6年度評価
④											④

①目標指標に対する達成率
令和6年度実績 / 令和7年度目標 = 第2期計画(令和6年度)の達成率

②目標指標の達成率による評価
【評価 A】 達成率が100%以上 【評価 B】 達成率が75%以上100%未満
【評価 C】 達成率が50%以上75%未満 【評価 D】 達成率が50%以下

③2期計画の進捗度による評価
【評価 A】 計画以上 【評価 B】 計画どおり又は若干遅れている
【評価 C】 計画より大幅に遅れている 【評価 D】 終了

④令和6年度事業評価
【評価 A】 評価に加え成果を向上させる取り組みを実施 【評価 B】 事業目標を達成できた
【評価 C】 事業目標を一部達成できた(できなかった) 【評価 D】 事業の未実施、廃止、統合